

港北ニュータウン サイン基本マニュアル (案)

昭和60年5月

住宅・都市整備公団
港北開発局
山手総合計画研究所

港北ニュータウンは、地区の基盤的施設についてはその整備が進み、第一次入居も始まり人々の来街の頻度も大きく増大してきている。

サイン・ネーミングはこうした港北ニュータウンの住民や訪ねる人々に街の構造をわかり、易く伝え、自分のいる場所を明らかにし、目的地へと誘導して日常の利便性を高めるばかりでなく、港北ニュータウンのイメージやアイデンティティを伝えるメディア（媒体）でありシンボルでもある。

また、現在港北ニュータウンに限らず、日本の地域開発は大きな転回点に到達しており、新しい目標を模索している。港北ニュータウンも、その一つの自立した都市を目指して整備が進められているが、ここに蓄積されつつある高水準の環境ストックを、港北ニュータウンに住み、或いは訪れる人々にわかり易く伝える事は、港北ニュータウンの目標を人々に理解してもらい、事業の円滑な進行とより良いまちづくりのためにも重要である。

こうした観点から、私達は今回の作業を、「港北ニュータウンの諸計画をサイン・ネーミングを通して、いかに伝えるか」を中心に展開してきた。そのために私達が目標としたことは、次の2つに要約できる。

- ① 総合的なシステムだけに着目した普遍的な一般解としての計画ではなく、「港北ニュータウン」のイメージを醸成するデザインを目指すこと。そしてサイン・ネーミング自体が、地区のシンボリックの意味をもつだけの完成度の高いものとする。
- ② サインやネーミングは、人々の意識の中では水や空気のように普段は強く意識されず、必要な時にはその場に過不足なく在る、といった黒子的な存在でありたい。そのためには計画者が一方的に全てを押し切ってしまうのではなく、ニュータウン居住者の参画や時間の変化に応じて附加し、或いは改変できるように骨格的な部分に限定してデザインすること。

本マニュアルは、港北ニュータウン サイン・ネーミング基本計画に係る一連の作業結果のうち、サイン設置の基本方針、サインの種類、及びサイン単体のデザイン・表示方法等に関する部分を「サイン基本マニュアル」として、とりまとめたものである。ただし、単体のデザインについては数案を併記するにとどまっている。

今後の、港北ニュータウンにおけるサインシステム実現に向けての主な課題は次のとおりである。

① サインシステム全体系の整備について

各種サインは、今後の事業の進捗に平行して設置することとなるが、現在から将来にわたるサインの設置・管理を、設置・更新のタイミング等を考慮した時間軸の中で検討すること（全体系整備のためのプログラミング）。

② 個々のサインについてのより実際的な検討

今回の作業の中でサイン単体の材料、デザイン、及び表示に関するデザイン・製作方法についての基本的なスタディを行ったが、さらにより実際的な検討を行う中で港北ニュータウンに最もふさわしいサインの形態を明らかにしていくこと。

また、グラフィックデザインについては、即時的な検討が必要であり、個々の実施設計の中で詳細に検討する必要がある。

尚、ピクトグラム等の検討は、今回の中ではある程度の結果を得るまでには至らなかったもので、これについても今後の検討課題である。

③ 実験的な設置とそれによるスタディ

上記①、②の主課題とともに、港北ニュータウンに最もふさわしいサインの実現のためには、今後さらに詳細な検討が加えられる必要があるが、港北ニュータウンにおけるサインは相当な数量にのぼり、ニュータウン全体へ向けた展開はまちの熟成に合わせて大変長いものにならざるを得ないことを考える時、今後は試行の積み重ねによりそれぞれ解決していくことが最も有効な方法であると言えるであろう。

本作業の次の段階として、実験的な設置によるスタディが必要である。

尚、作業に当たっては、基本的な考え方の部分で横浜市関係部局の方々と調整をしながら進められた。今後の具体的な設置の中で、サイン・ネーミング計画の意図が、的確に実現されることを願う。

- | | | | |
|-------------|--------|----------|------------|
| ● 住宅・都市整備公団 | 港北開発局 | ● 作業グループ | ㈱山手総合計画研究所 |
| | ・堀田 孝義 | | ・菅 孝能 |
| | ・中山 通生 | | ・工藤 博文 |
| | ・越智 武雄 | | ・松村 和雄 |
| | ・支倉 紳 | | ・藤井 経三郎 |
| | | | ・牧谷 孝則 |

第1章 サイン計画の目標と基本方針

1. サイン計画のテーマコンセプトの設定 1
2. サイン計画の目標と方針 2
3. 必要サインリスト 3
 - 1) みちしるべ — 一般道路および、歩行者専用道路内サイン
 - 2) コミュニティしるべ — 公園・緑道内サイン

第2章 サイン構成と配置の考え方

1. 一般道路及び、歩行者専用道路内のサイン構成と考え方 4
2. 公園・緑道内のサイン構成と配置の考え方 5

第3章 サイン基本設計

1. ビジュアルエレメントデザイン 6
 - 1) 書体の選定案 6
 - 2) オリエンテーションとスケールのデザイン案 8
 - 3) 現在地マークのデザイン案
 - 4) 案内図表示—バス停に設置する地区案内サインの案内図の表示原則 9
 - 5) カラーリング 10
2. グラフィックデザイン 11
 - 1) バス停周辺案内サインのグラフィックデザイン (案) 11
 - 2) 方向指示サインのグラフィックデザイン (案) 12
3. 一般道路及び歩行者専用道路内サインのプロダクトデザイン 13
 - 1) PCコンクリートによるサイン 13
 - 2) メタルキャストによるサイン 16
 - 3) 耐候性鋼によるサイン 19
 - 4) PCコンクリート柱によるサイン 22
 - 5) アルミ型材によるサイン 26

4. 公園・緑道内サインのプロダクトデザイン 30
 - 1) 読切連載解説サイン 30
 - 2) 史蹟解説サイン・緑道名称サイン 31
 - 3) 樹名・小動物名等解説サイン 32
 - 4) 自然石による公園名称 (公園案内) 及び緑道 (緑道案内) サイン 33
 - 5) サイクリングコースサイン 34
 - 6) ジョギングコースサイン 35
5. 表示板の取付方 36

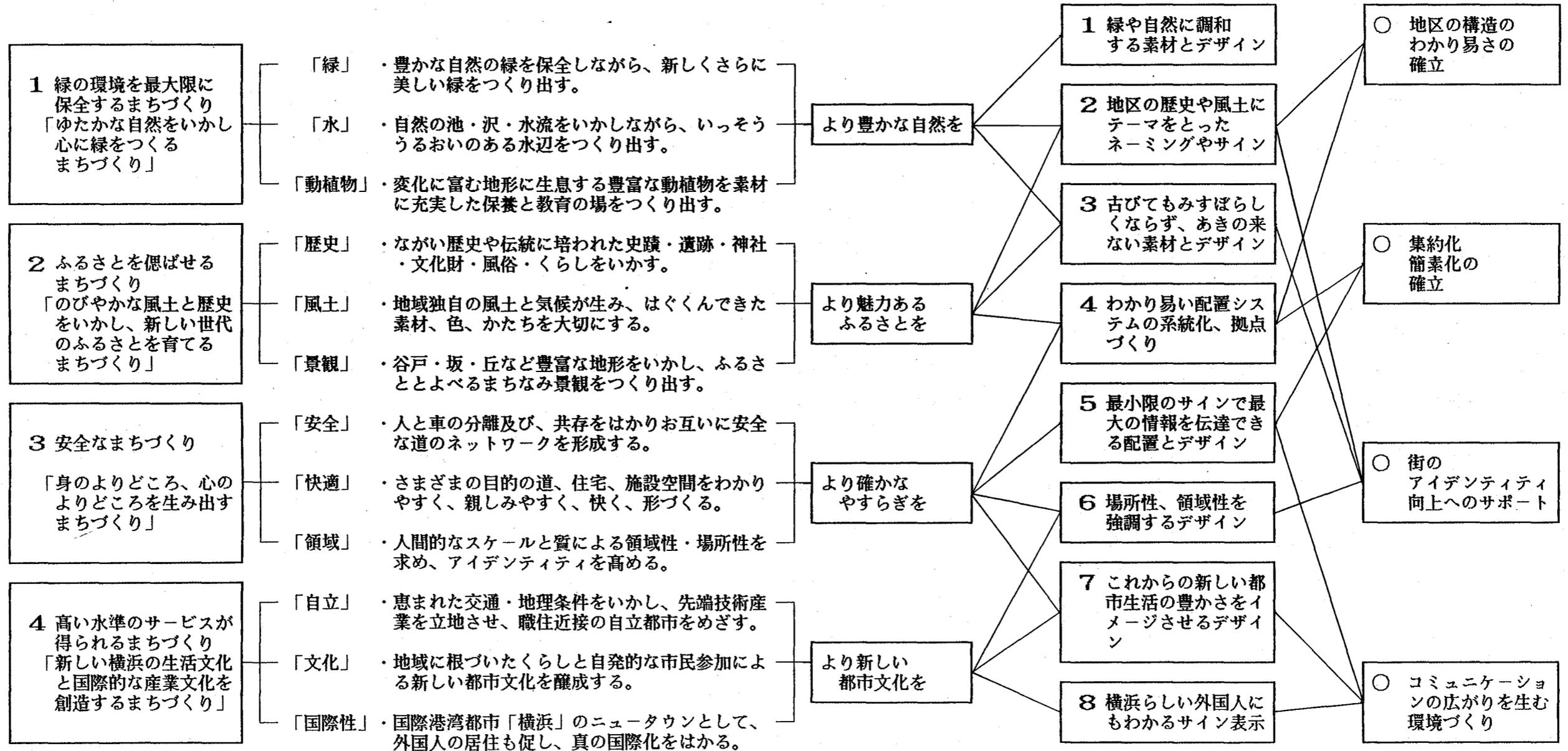
1-1 サイン計画のテーマコンセプトの設定

● 港北ニュータウン計画における4つの基本方針に基づいて、設定した環境計画のためのフィジカルコンセプトを受け、先の調査「港北地区サイン計画策定調査 昭和58年」におけるサイン計画の4つの方針を、より具体的なテーマコンセプトとして表現する。

● 4つの基本方針に基づく環境計画のフィジカルコンセプト

● サイン計画のテーマコンセプト

● サイン計画の4つの方針
「昭和58年サイン計画より」



1-2 サイン計画の目標と方針

- 港北ニュータウンは広大な広がりを持ち、かつ単なるベッドタウンではないため、外来者の数は他のニュータウンに比べ、非常に多くなることが予測される。
- 本計画では、先ず主として外来者への道案内（居住者に対しても同様）としての「みちしるべ」を考える。

- さらに、広大なニュータウンをまとめたイメージで結びつけるためのサイン「まちしるべ」と、ニュータウンに住む人と人、人とまちとのふれ合いを育み、豊かなコミュニティ形成の助けともなる。地域社会内のサイン「コミュニティしるべ」を考えるものとする。

● サイン計画の目標	● サイン構成の方針	● 配置の原則
<p>1 街のアイデンティティ向上へのサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュータウン全体のアイデンティティをつくり、対外的にニュータウンの良好なイメージを伝達する。 ・各地区のアイデンティティをつくる。 	<p>→ まちしるべ (まちのアイデンティティを高める要素)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンボル・ロゴタイプ・カラリング ・形態・表示デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> * 領域、圏域ごとに特徴・個性を持たせたい。
<p>2 地区構造のわかり易さの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住者・外来者・通勤者を安全快適に目的地に誘導する。 ・電車・バス利用者及び、車・自転車利用者を主に対象とする。 ・人の多様な活動を補助する。 	<p>→ みちしるべ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内サイン (総合案内・地区案内) ・方向指示サイン (施設へ・街区へ等) ・到達 (名称表示) サイン (TEL.BOX, BUS STOP) 	<ul style="list-style-type: none"> * 必要最小限のサインで情報を伝えるために配置システムを考える。 * 利用者の交通手段により主に一般道路、及び歩行者専用道路上に配置。
<p>3 コミュニティの広がりを生む装置づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の地域社会形成を育むサイン ・人とまち、人と人とのふれあいを育むサイン 	<p>→ コミュニティしるべ・ひとしるべ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション系 ・レクリエーション系 ・掲示板 ・史跡・解説サイン ・コミュニティボード ・動植物解説サイン ・安全サイン ・樹名サイン ・ジョギング・散策サイン 	<ul style="list-style-type: none"> * コミュニケーション系は人の活動の中心となる場所、センター広場などに配置する。 * レクリエーション系は主に公園・緑道内に配置する。
<p>4 集約化・簡素化の確立</p>	<p>→ わかり易い配置システムとデザイン</p>	

1-3-1 みちしるべ——一般道路及び、歩行者専用道路内サイン

サインの種類	機能	設置場所	表示方法
総合案内サイン	港北ニュータウン全体を表示し、自分の位置を確認し、目的位置までの経路を知らせる。	地区内の計画駅。	港北ニュータウン全体を地図で表示。
バス停周辺案内サイン	港北ニュータウンの中の位置とさらに細かな地区や街区単位の表示をする。	バス停付近。	バス停周辺の地図を表示 現在地の表示。
まちかどサイン(大)	幹線道路の主要な交差点においてニュータウン内の方面誘導を行う。	幹線道路の主要な交差点。 (交差点の約30m手前)	主要な地名、道路名、公共施設名等の表示。 方面と距離を表示。
まちかどサイン(小-1)	コレクター道路の導入部でドライバーに対し、街区への誘導を行う。	コレクター道路導入部。 (交差点の約10m手前)	街区名・施設名等を表示 矢印等による誘導を行う。
まちかどサイン(小-2)	主要な歩行者専用道路の分岐点で歩行者に対し、誘導を行う。	主要な歩行者専用道路の分岐点。	施設名、町丁名、を表示し、 矢印等により誘導を行う。
交差点名サイン	主として車・自動車利用者に自分の位置を確認させる。	幹線道路の主要交差点。	既定の表示方法にする。
道路名サイン	同上。	バス停及び、主要交差点等。	道路愛称。 由来がある場合は説明文も表示したい。
バス停サイン		バス停。	バス停名称の表示。
坂名・広場名・辻名表示サイン	特徴のある場所にネーミングすることにより町への愛着を促す。		名称の表示。 由来がある場合は説明文も表示したい。 方向指示サインも兼ねる。
橋名サイン		親柱、高欄等。	橋名の表示。
コミュニティ道路表示サイン	ドライバーにコミュニティ道路である事を認識させスピードを落とさせる。	コミュニティ道路の出入口。	ピクトグラム等による表示。

1-3-2 コミュニティしるべ——公園緑道内サイン

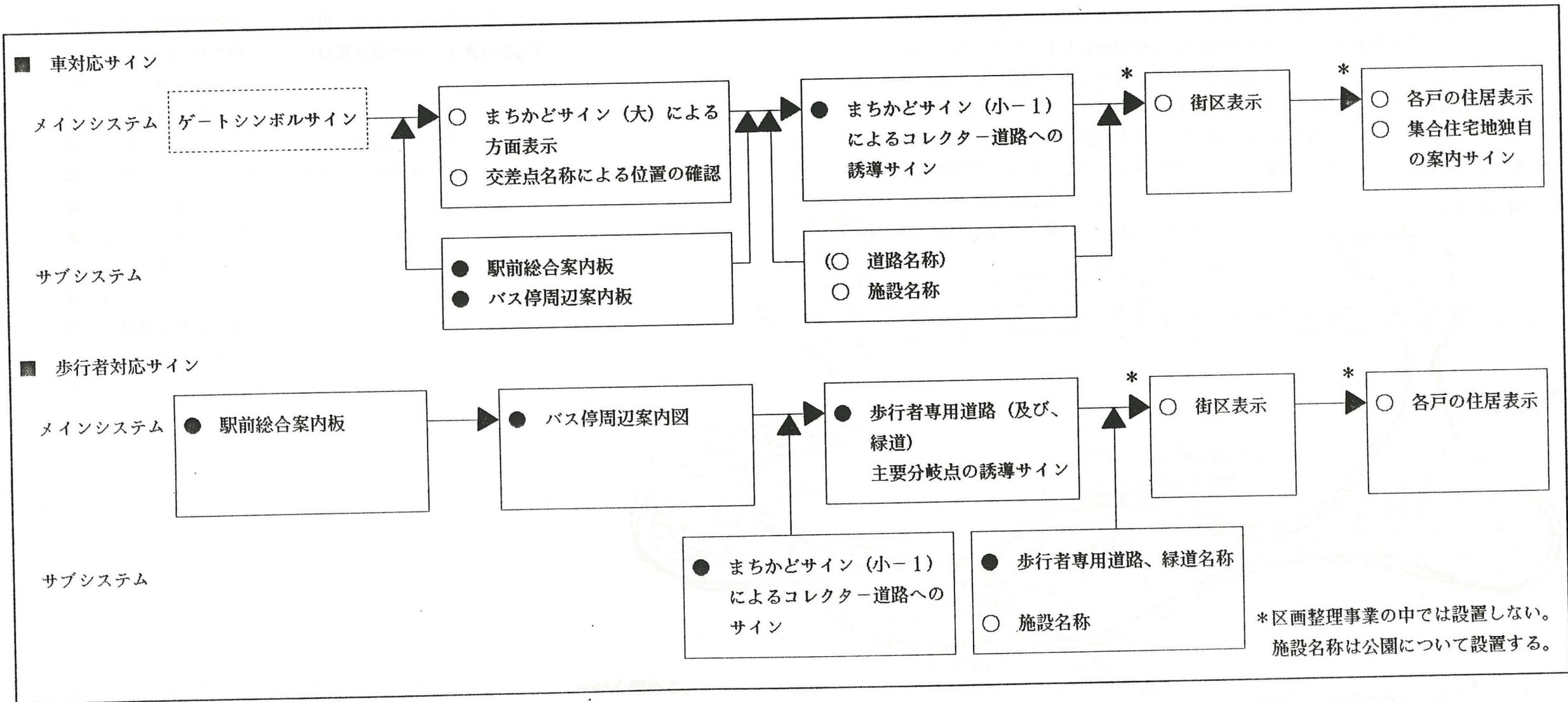
サインの種類	機能	設置場所	表示方法	
読切連載解説サイン	楽しみながら自然への理解を深める。	緑道内。	絵と文章による解説。	
グリーンアドベンチャーサイン	樹名あてゲーム。	緑道及び、公園内。	樹木に番号のついた札を下げる。	
単独解説サイン	樹名サイン	樹名・樹形・花の咲く時期等を表示。	生物相保護区。 その他公園、緑道内。	絵・ピクトグラム等で表示。
	小動物解説サイン	そこに生息する小動物への理解を深める。	生物相保護区。 その他公園、緑道内。	絵と文章による表示。
	史跡・歴史解説サイン	その場所の歴史について理解を深める。		絵と文章による表示。
緑道名称：緑道全体案内・水系別緑道の案内	緑道の名称を知らせ、緑道の案内を行う。	水系別緑道の起終点及び主要な歩行者専用道路との接点等。	緑道名称と緑道ルートの表示。	
公園名称	公園の名称を知らせ、緑道の案内を行う。	公園入口。	必要に応じて公園の案内サインと兼ねる。	
ジョギングサイン・サイクリングサイン	ルート案内板でコース全体を案内し、コース内に目印となるサインを設ける事により活動を促す。	公園・緑道内等。	緑道名称サインにルート案内を表示する。 マイルストーン・絵タイル等の目印を置く。	
山頂ビスタサイン・山名サイン	公園緑地計画で設定されたビスタラインを表示。	ビスタサイン 山頂。 山名サイン 登り口。		
生物相保護区表示サイン	生物相保護区を示し、棲息する生物の紹介をする。	生物相保護区へのアプローチ地点。	絵や解説文。	
池名サイン		公園・緑地内の池。	名称表示。(かな・漢字)	
注意サイン 安全サイン	注意文、警告文を表示し安全を保つ。	公園・緑道内等。	ピクトグラム及び、文章で表示。	
金石文				
コミュニティボード(掲示板・広報板)	広告物の乱立を防ぎ、住民相互のコミュニケーションの手立てとする。	都市緑地。		
電話ボックス		バス停・サイン拠点。		

2-1 一般道路及び、歩行者専用道路内のサイン構成と考え方

- みちしるべの配置システムは、基本的に前回調査「港北地区サイン基本計画調査 昭和58年」によるシステムを踏まえながら、今回設定したサイン計画のテーマ・コンセプトに従い、現実性の高いものを目指す。
- 外来者に対する誘導を中心に、幹線道路における方面表示（既存システム）から各宅地の住居表示、住棟表示、施設名表示（既存システム）をつなぐサイン配置システムとして考える。

- また、テーマ・コンセプトによる「わかり易い配置システム」「最小限のサインで最大の情報を伝達できる配置」に従って、バス停サイン拠点の簡略化、区画道路導入部でのサインのとりやめ、コレクター道路導入部の表示方法の見直し等の改善を行いたい。

凡例： ○ 既存のサインシステム
● 新しいサインシステム



2-2 公園・緑道内のサイン構成と配置の考え方

1) サイン構成

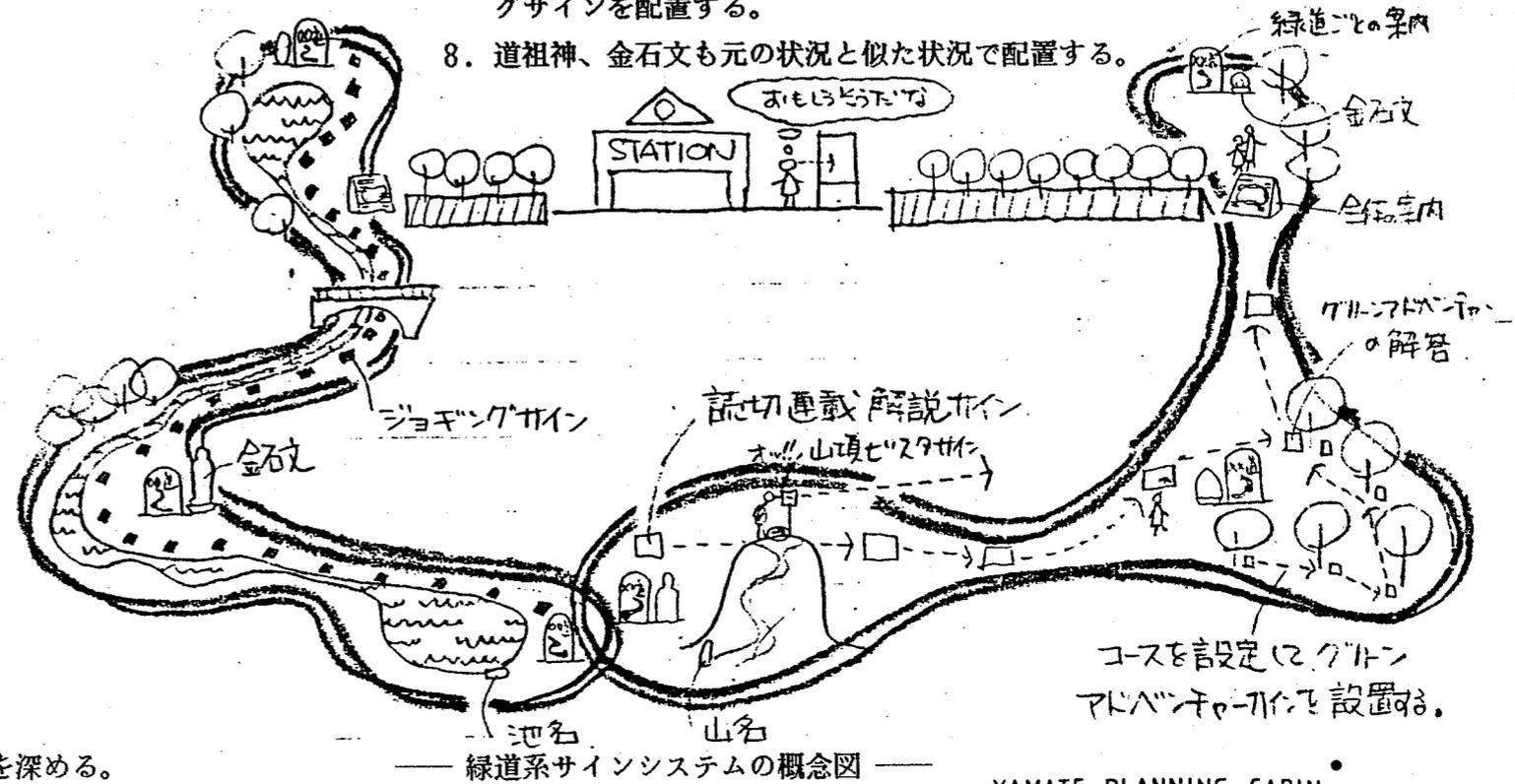
グリーンマトリックスシステムにより、体系づけられた公園と緑道を、一体の連続する空間としてとらえ、全体に関連性のある解説サインを設置する事により、全体で、約100ヘクタールの「野外博物館」とよべるような公園・緑道空間となるよう、以下のサインを配置する。

- 緑道全体の案内サイン (緑道名称サインと兼ねる。)
- 水系別の緑道案内サイン (緑道名称サインと兼ねる。)
- 公園名称サイン
- 読切連載解説サイン *
- 各種単独解説サイン (樹名・小動物・史跡等)
- グリーンアドベンチャーサイン (樹名あてゲーム)
- サイクリングルートサイン
- ジョギングサイン
- 山名・池名サイン
- 山頂ビスタサイン
- 生物相保護区サイン
- 注意・安全サイン
- 金石文

* 単独ではなく、連続して同じテーマのものを解説し、より理解を深める。

2) 配置の考え方

1. 駅等のサイン拠点で「野外博物館」の案内や解説を行い、外来者にも歩く興味を持たせる。
2. 駅からの緑道の入口には、緑道全体のサインを配置し、全体の中の現在地とどちらに進めば何があるかを知らせる。
3. 緑道単位 (水系別) の起終点及び、主要な歩行者専用道路との交差部に緑道ごとのルート図入りの名称サインを設置する。(約500m間隔)
4. 約300m~400m間隔に読切連載解説サインを設置する。
5. 駅や主要施設の近くの出入り口では誘導も行う。
6. サイクリングルートには、その起終点と主要な緑道、歩行者専用道路との交差部にサインを配置する。(約500m間隔)
7. 緑道内でリンクするジョギングルートを設定し、約200m間隔でジョギングサインを配置する。
8. 道祖神、金石文も元の状況と似た状況で配置する。



— 緑道系サインシステムの概念図 —

3-1-1 書体の選定案(1)

● 使用書体 —— 「ゴナ」選択の理由

- ・直線処理を主体とした、シャープでスピード感のある書体である。
- ・カナの字枠が、漢字と同様に大きくとられているため、ラインが揃う書体である。そのためバランスがとれ、視認性・可読性が高い書体である。
- ・ファミリーが多いため活用範囲が広く、案内板・方向指示板その他の設置タイプに対応した文字の選択幅がある。また、いろいろな仕上げの加工にも対応しやすい書体である。

		書体名	
港北ニュータウン	——	港北ニュータウン	ゴナM
港北ニュータウン	——	港北ニュータウン	ゴナD
港北ニュータウン	——	港北ニュータウン	ゴナDB
港北ニュータウン	——	港北ニュータウン	ゴナB
港北ニュータウン	——	港北ニュータウン	ゴナE

- * 印字級数は44級、正体。
字間送りは左が44齒(ベタ)送り右がツメ印字。
- * 上記書体の他に最も細かい書体でゴナL、最も太い書体でゴナUがある。

3-1-1 書体の選定案(2)

■ 書体(数字と英字) —— 書体の併記

- 書体は、ユニバースを使用する。
- ゴナ(和文)の書体とユニバースとの組み合わせは下記の通りである。

〔数字の併記〕

ゴナDB —— ユニバース55・メディウム(E102-24)
 ゴナB —— ユニバース65・デミボールド(E102-34)

〔英字の併記〕

英字は和文よりも長くなることを考慮し、全てユニバース・メディウム・コンデンス(E102-22)とする。但し、地図内での使用に限る。

- 数字の大きさは、和文の天地寸法に揃えることとする。
- 英字の大きさは、下記の通りである。

和文の級数	英文の級数
38級	28級(1.35)
32級	24級(1.33)
28級	20級(1.40)
24級	18級(1.33)
20級	15級(1.33)

* ()内の数字は割合である。上記以外の大きさの場合は、これらの比率を参考にする事とする。

- 和文が上、英字が下に配置される場合の行間は、和文天地の1/3のアキを標準とする。

(注) 英文の使い方

横浜のまち、港北ニュータウンらしさを表現すること、及び外国人利用者が、他の団地に比べて多いことなどを考慮して地図内の表記に英文を用いる。

但し、案内系統すべてに表記するときわめて煩雑になるため、案内サイン地図内の全てには用いない。

〔組合わせ例〕 (バス停留所前の案内板の場合)

都筑町2丁目 TSUZUKI-CHŌ 2

北都町4丁目 HOKUTO-CHŌ 4

都筑町3丁目 TSUZUKI-CHŌ 3
 北都町5丁目 HOKUTO-CHŌ 5

和文38級
 ユニバース28級

都筑通り TSUZUKI St.

北都通り HOKUTO St.

和文28級
 ユニバース20級

北都公園 HOKUTO PARK

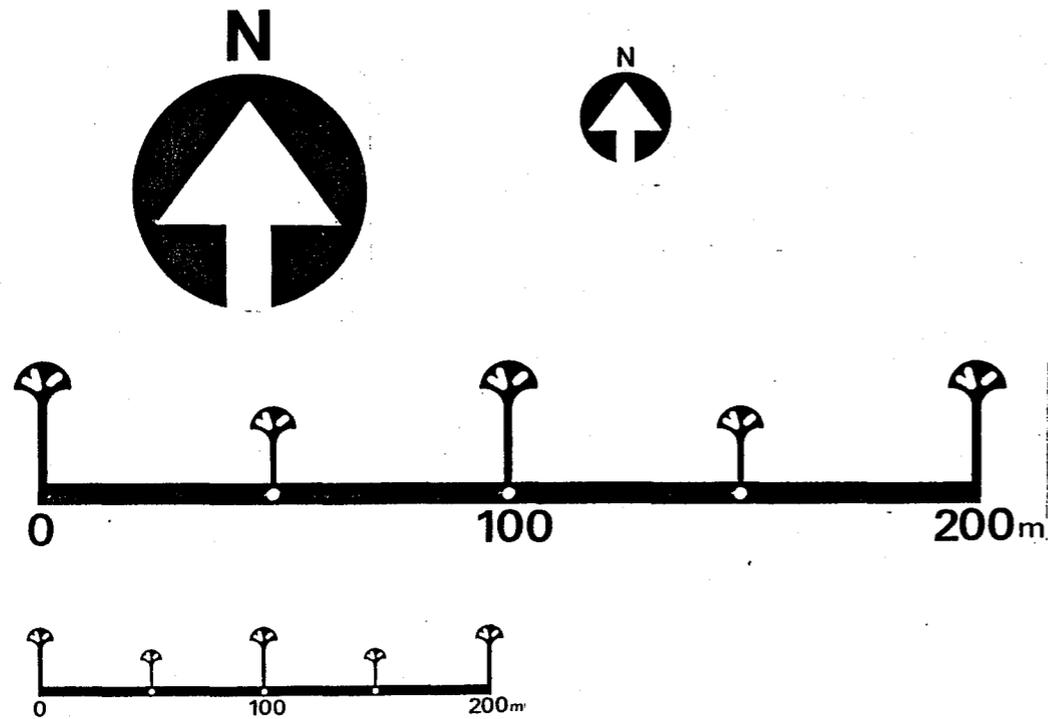
北都ショッピングセンター
 HOKUTO SHOPPING CENTER

和文24級
 ユニバース18級

3-1-2 オリエンテーションとスケールのデザイン案

- オリエンテーションは、地図内では目立つ必要はないが、小さくとも面としての強さとはっきりとした方向性を機能として持つ必要がある。これらを満たす処理として面(正円)と方向性(矢印)を組み合わせ、さらに一般化しているアルファベットのNを併記している。
- スケールは地図内では重要な情報である。それにもかかわらず、デザインはつけ足し的な処理にされることが多い。
下の例は、楽しさを感じてもらおうことと同時に機能を強調させるために目盛線を神奈川県の県木であるイチョウをデザイン化したものである。
- 英字と数字は、ユニバース65・デミボールドを使用。

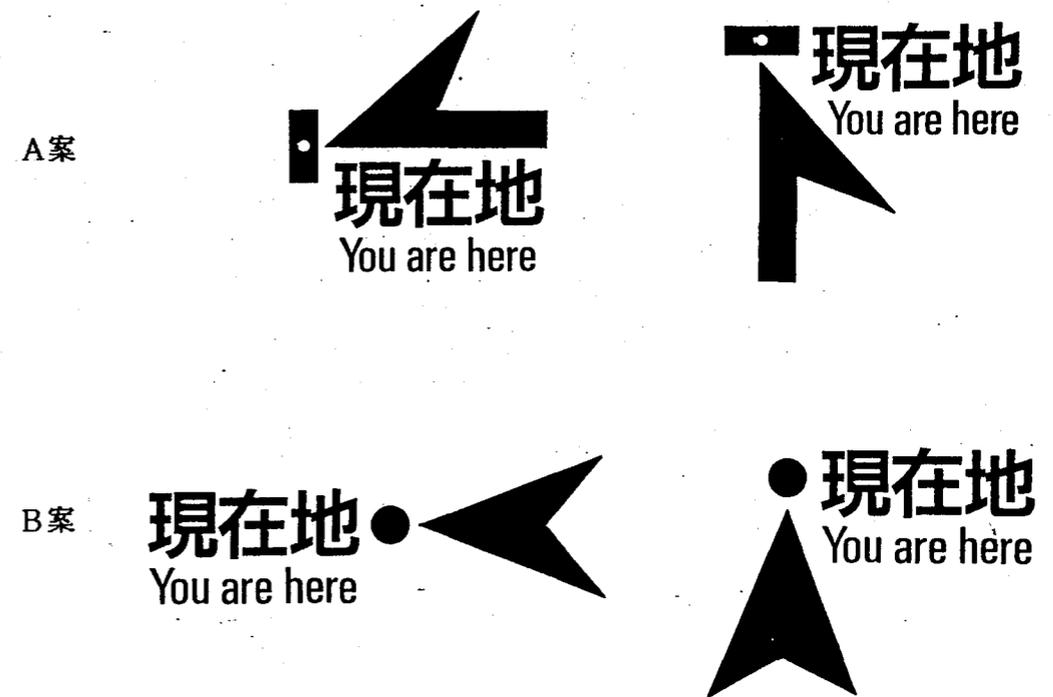
(例)



3-1-3 現在地マークのデザイン案

- 現在地マークは、設置されている案内板の位置と見る人の関係が的確に表現されなければならない。
- 案内板の設置場所に、帯状の板面を合わせ、見る人が表示面と向かい合う形で視覚化されていることが望ましい。
また、設置場所は縦・横・斜めなどの多種にわたるため、デザイン処理はこれらの条件を満たす必要がある。
- マークには「現在地」の文字と英文を併記する。

(例)



3-1-4 案内図表示 — バス停に設置する地区案内サインの案内図の表示原則

● 表示項目	● 表示の仕方	● 和文の書体	● 級数 () 内は英字	● ピクトグラム	● 記号	● 備考
○ 道路 一般道 車道 歩道 歩行者専用道 緑道	形状の面処理 形状の面処理 形状の面処理 形状の面処理	ゴナDB* ゴナDB ゴナDB	28級(20) 20級 20級	表示* 表示*		・文字表示は主要道路 ・ところどころに表示 ・ところどころに表示
○ 住宅地 丁目区分	形状の面処理 点線処理	ゴナDB* ユニバース65*	38級(28) (20級)			・町丁名 ・数字のみ表示、地番
○ 公園 地区・近隣公園 児童公園 池 水路	形状の面処理 形状の面処理 形状の面処理 形状の面(線)処理	ゴナDB ゴナDB *	24級(18) 20級	表示 表示 表示		・面処理に模様を入れる ・主要なもの
○ 河川	形状の面(線)処理	ゴナDB	24級			
○ 学校	形状(区域と建物)の面処理	ゴナDB	24級(18)*	表示		
○ 公共施設	形状(区域と建物)の面処理	ゴナDB	24級(18)	表示*		・各種施設
○ センター	形状(区域と建物)の面処理		24級(18)			
○ 駐車場	形状の面処理			表示		
○ 公衆電話・便所・ポスト				表示		
○ 橋	形状の面(線)処理	ゴナDB	20級			
○ バス停留所		ゴナDB	20級	表示		

注) ベース地図は2,500分の1を使用する。色彩表示については別紙参照。

3-1-5 カラーリング

1. 色彩の設定

(1) 港北ニュータウン基準色

- ① 落ち着きや安らぎ、同時に力強い生命力などを表出できる色。
- ② 自然に恵まれている港北ニュータウンの特質に、イメージ上で一致するとともに、自然の緑との「心理的な補色」の関係にあることによって、「色相の対象による調和」を保てる色。

以上の視点から、6Y0（黄味を持った茶）を選定し、同色のトーン系列による段階から6色の同系色を選び基準色として設定した。

基準色は、地図表示の背景的な色として多様したり、サイン本体の色として用いて港北ニュータウン全体にわたって散見できることで、港北ニュータウンの基礎的な色彩イメージを統一的につくることを意図している。（右の表参照）

(2) 変化づけのための色の設定

- ① 基準色が背景的な色なのに対して、変化づけを行う色を設定する。
- ② 変化づけの色は、若さ、活気、楽しさ、近代性等のイメージを表出できる色。
- ③ ただし、基準色との色面積比を大きくし、変化色は小さなポイントや線状で用いる。
- ④ 変化づけのなかにも統一性を持たせるため、複数の変化色はトーンが統一するよう選定する。
- ⑤ 色相の間隔が知覚的等間隔になるよう選定する。

以上の視点から、心理的には最も鮮やかな色に感じる「ビビッドトーン」から色を選定した。トーンを同じにすることで、「トーン同系による調和」も変化色群全体で作ることとなる。

(3) 変化づけ色の使い方

変化色は地図表示の線や記号に用いたり、まち単位のシンボルカラーとして設定したりする。（右の表参照）

2. 基準色の選定案

色番号	色名	使い方の原則
734	膚色	地図の背景やサインの構造体、柱に使用
735	杏色	
742	萱草色	地図内の道路（全体概略図などの道路を色で表示する場合）や鉄道の表示に使用
748	金茶色	
F80	カフェ	
F256	サングリエ	サインの構造体や柱に使用。文字の一部に使用。（例えば、拡大図で道路を白抜きで表示した場合の道路名）等
960	墨色	文字。薄めて集合住宅や学校等の建物表示に使用。

*DIC番号 *色によっては薄めて使う場合もある。

3. 変化づけ色の選定案

（大日本インキ化学「日本の伝統色」「フランスの伝統色」より選定）

色番号	色名	使い方の原則
715	薔薇色	ショッピングセンター地区表示（面）
F87	カピュシーヌ	図書館等の文化施設地区表示（面）
805	たんぼぼ色	行政施設等の公的施設地区表示（面）
830	鶺鴒色	医療施設地区表示（面）
829	若草色	児童公園、近隣公園等公園関係地区表示（面） （樹木を暗示するような質的表示を兼ねる）
846	鸚鵡緑	
F57	ブルー・ヴェール・ダンス	緑道・歩行者専用道路
F41	ブルー・ジターヌ	河川表示 公的施設や河川等の一部の名称に使用。
F128	ジャンシャーンヌ	
F269	チュリップ	駅名・鉄道名・有料道路等の一部の名称に使用。
F90	スリーズ	

*色によっては薄めて使う場合もある。金色とも地区のシンボルカラーとして用いる。

3-2-1 バス停周辺案内サインのグラフィックデザイン (案)

■ 基本的な考え方

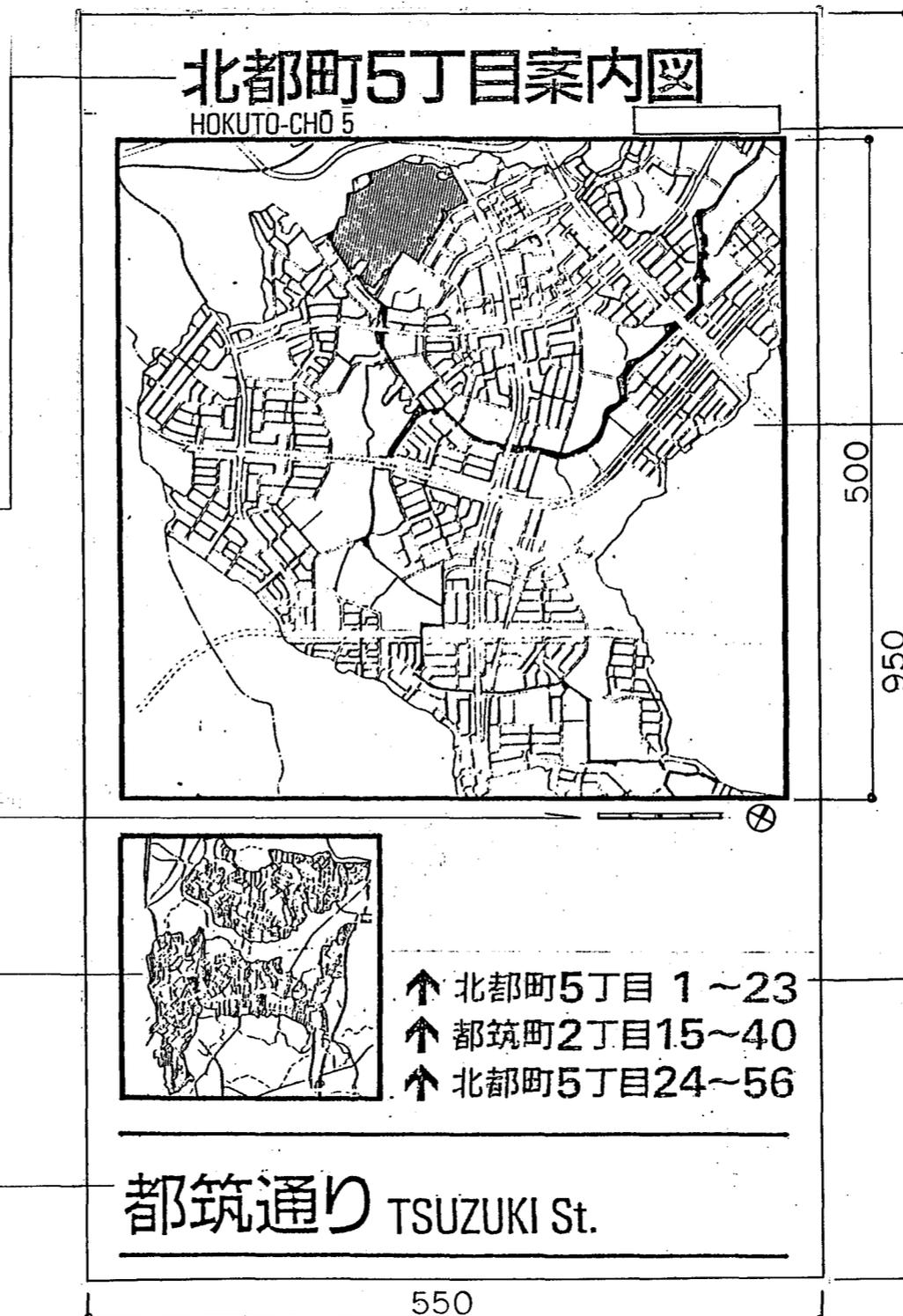
- ・ 製作上の問題及び、可視範囲より地図の最大サイズを1500mm×1500mmとする。
- ・ バス停周辺案内サインは必要数量が多いので地図のサイズを小さくてコストダウンをはかる。
- ・ 地図表示システムは簡略でわかりやすいものとする。

- タイトル文字を大きくとる。
(10m程度、離れても読める様、5cm角程度)
地図の中に入れてない。

- オリエンテーション・スケール等も地図の中に入れて、一定の位置に表示する。

- ニュータウン周辺交通網図、20cm角の中に表示し、幹線道路名、駅名等を表示する。

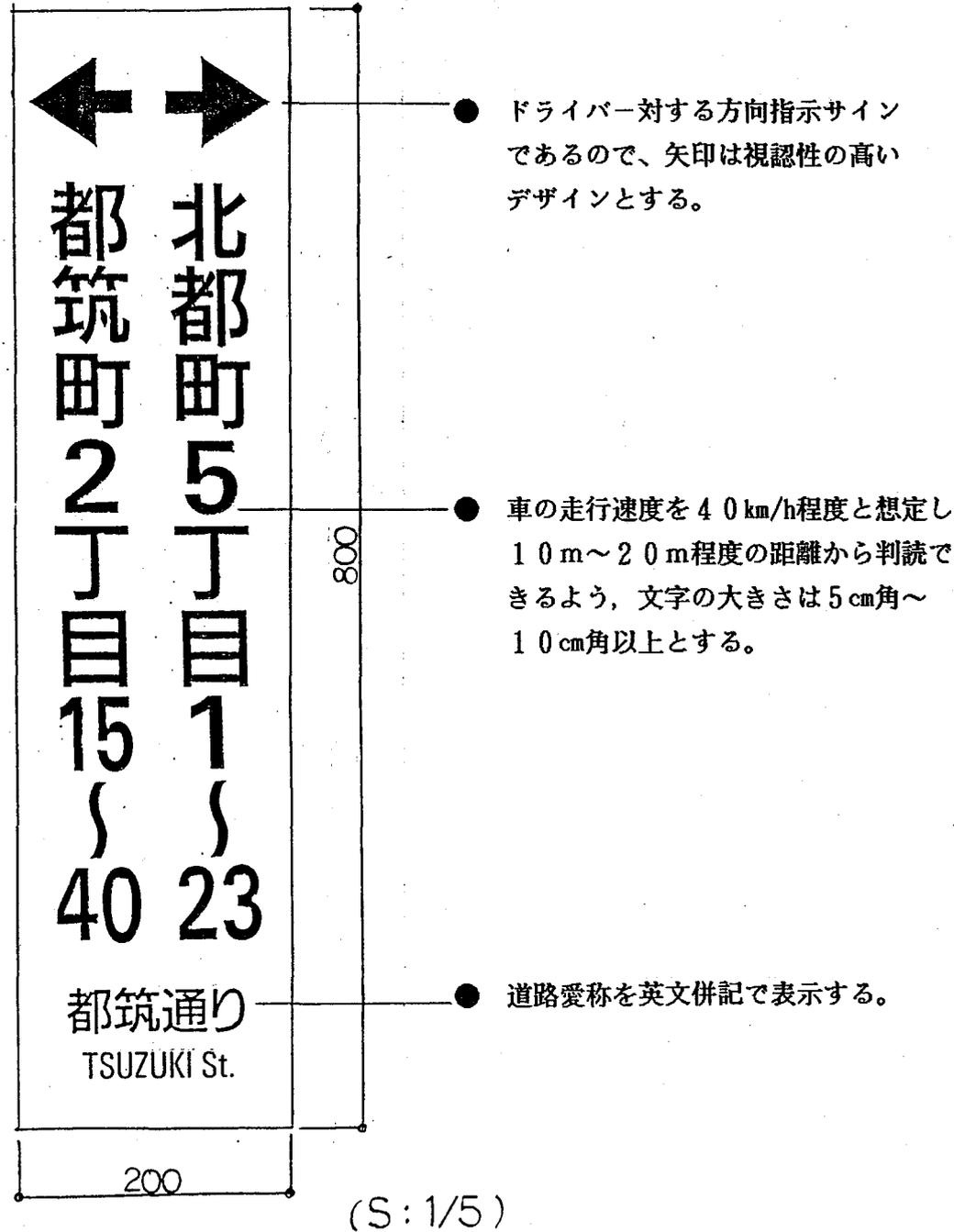
- 通り名称を表示する。
停車すればドライバーにも読める様、5cm~8cm角程度



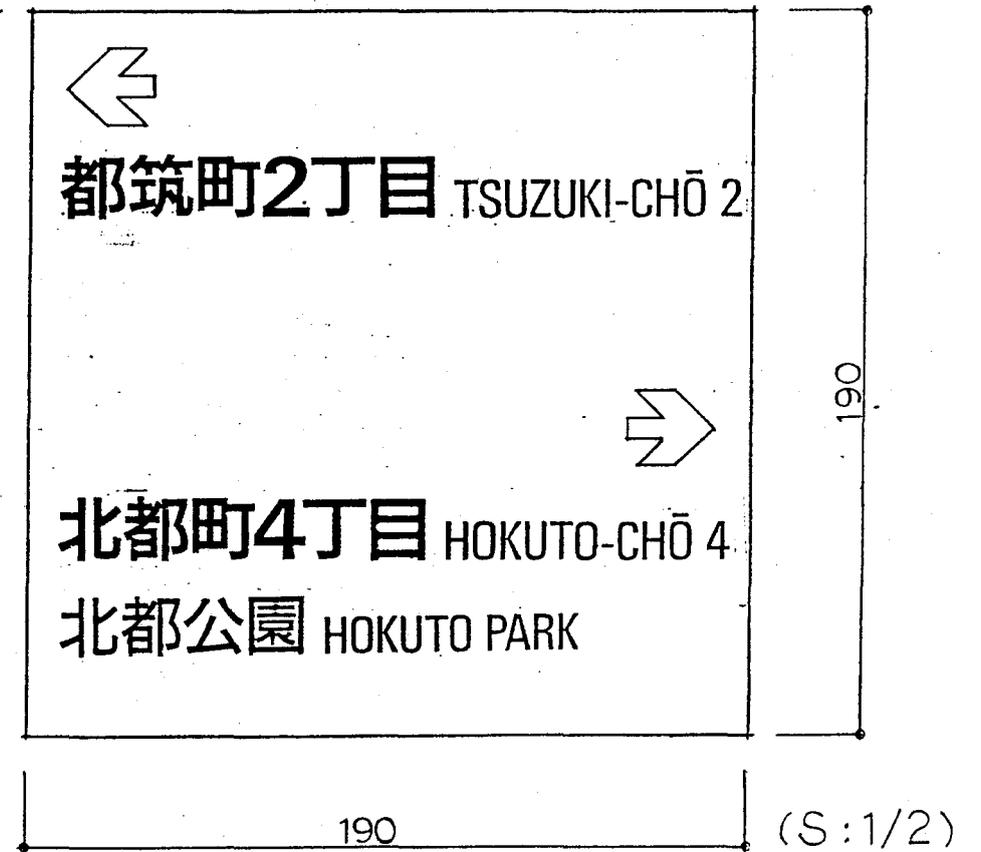
- ニュータウン名称英文併記
- 大圏域程度の範囲を S=1/2500又は1/5000で表示する。
- 同一の版下を6~8ヶ所のバス停で使用する。
- 地区内外ともに表示するが、色調を変えて違いを出す。
- 当該地点から徒歩範囲内にある町名・主要施設等を表示し、方向を指示する。

3-2-2 方向指示サインのグラフィックデザイン (案)

■ まちかどサイン (小-1) コレクター-道路誘導サイン案

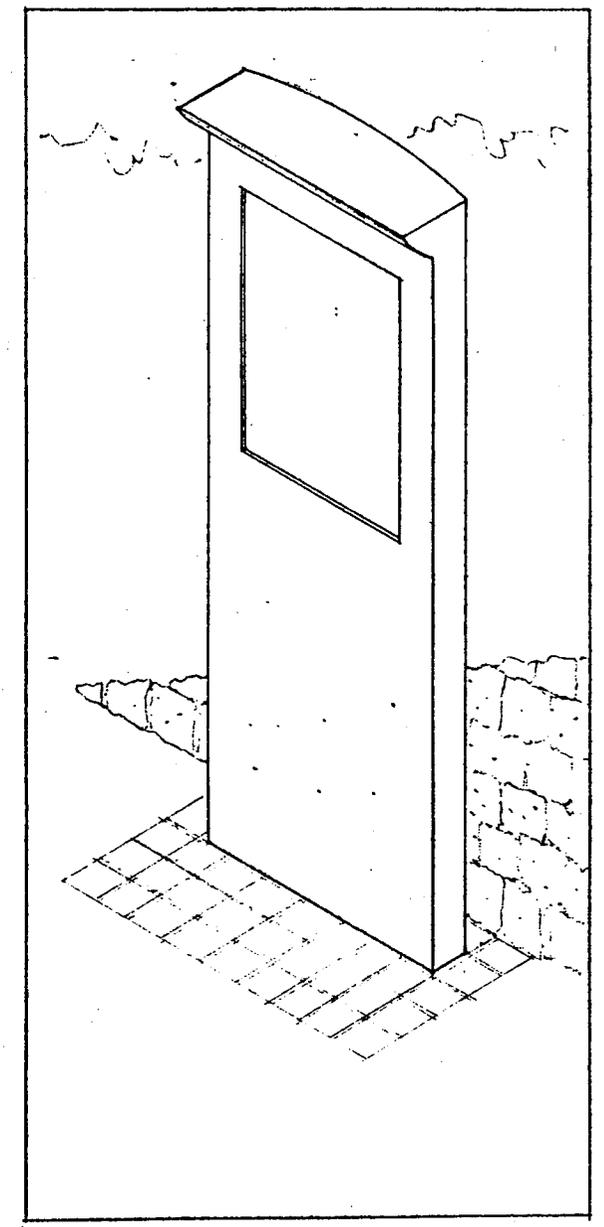
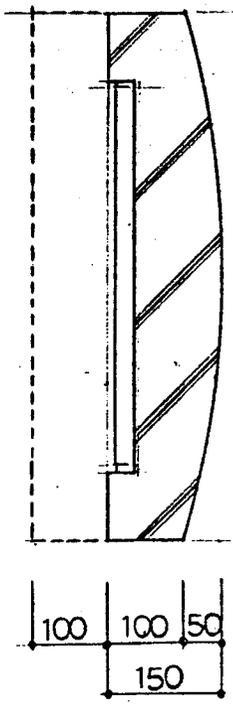
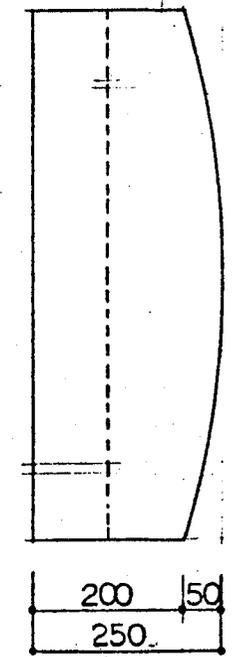
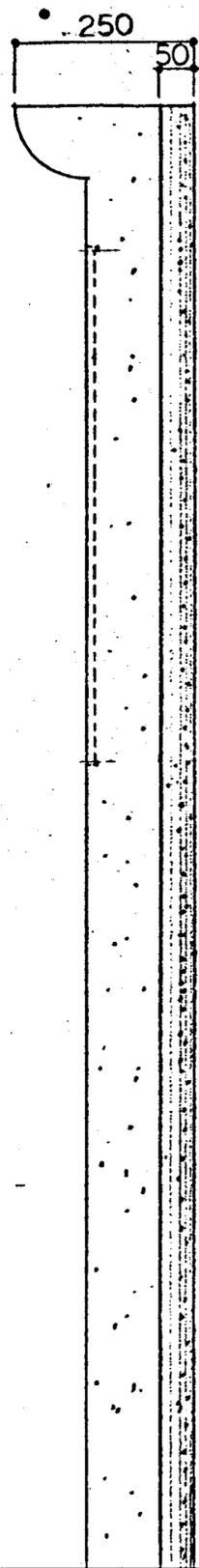
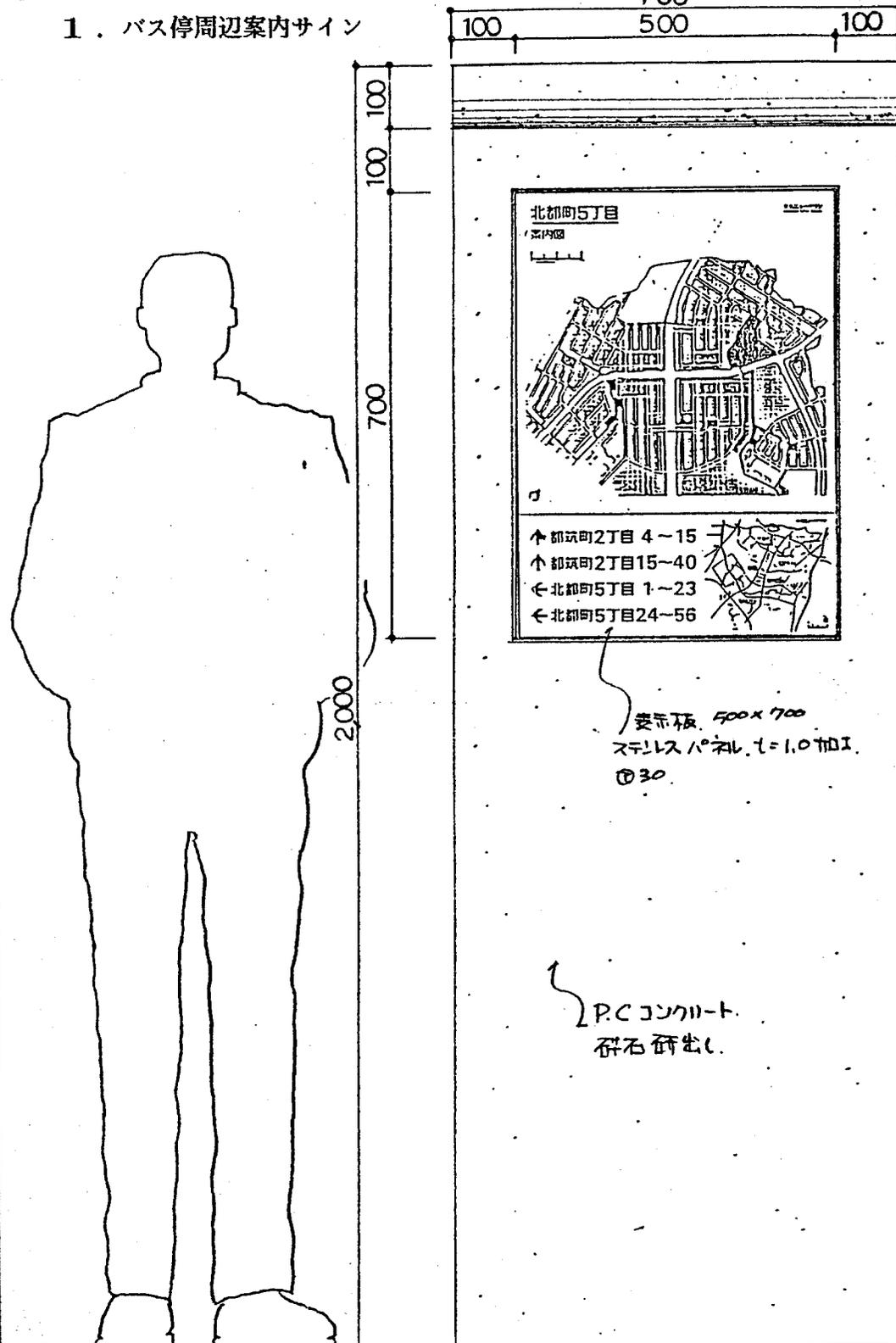


■ まちかどサイン (小-2) 歩行者専用道路、緑道内方向指示サイン案



3-3-1 PCコンクリートによるサイン(1) 700

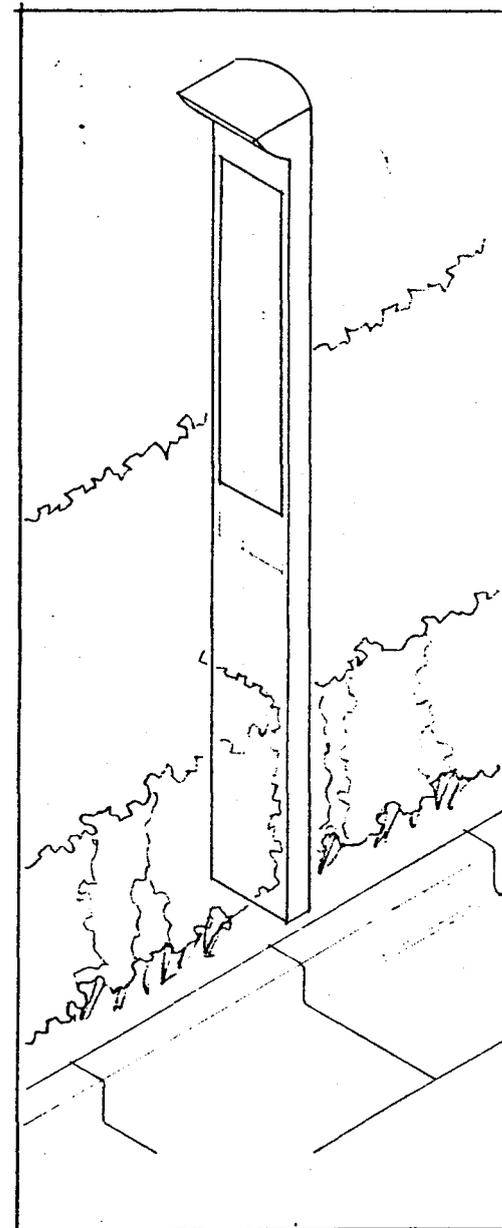
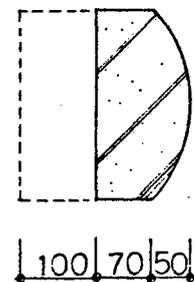
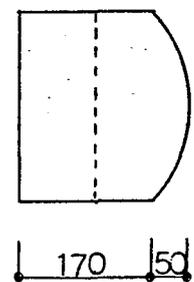
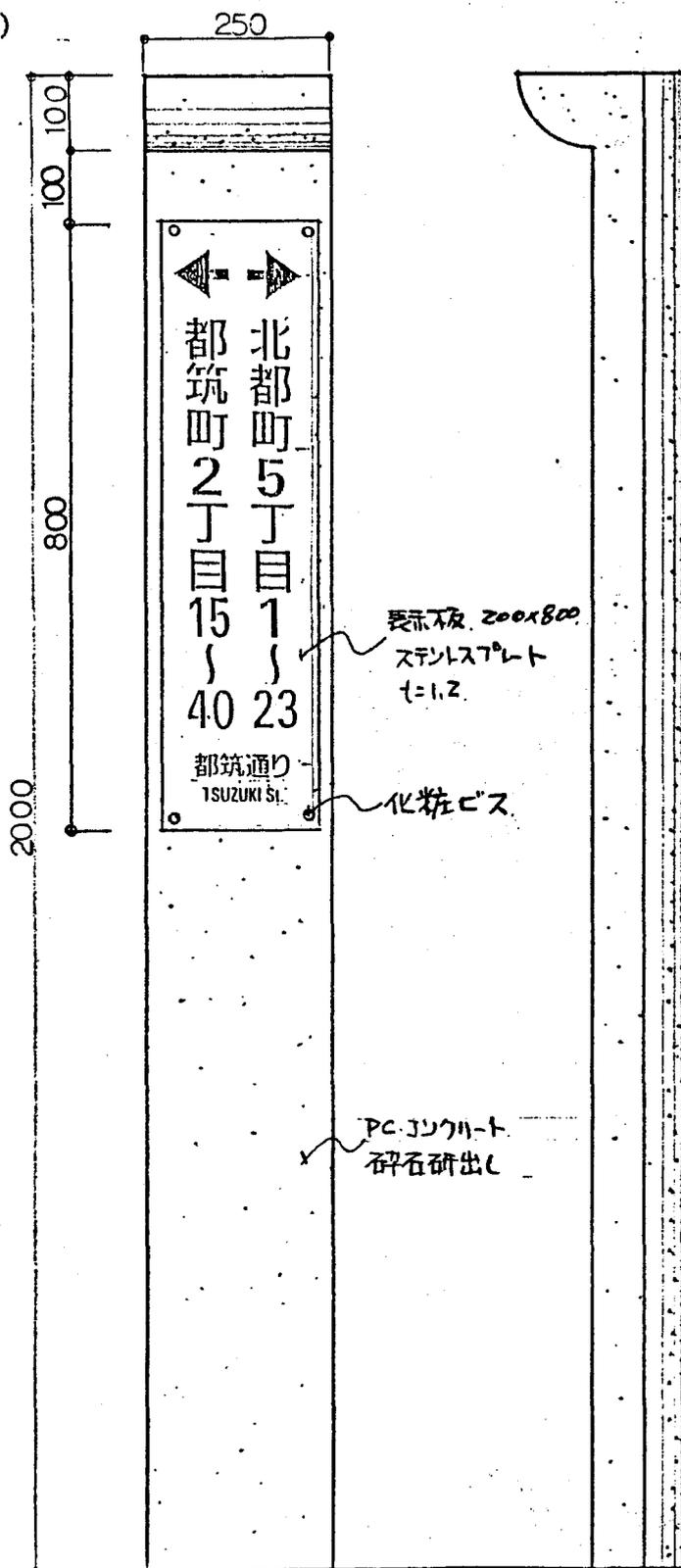
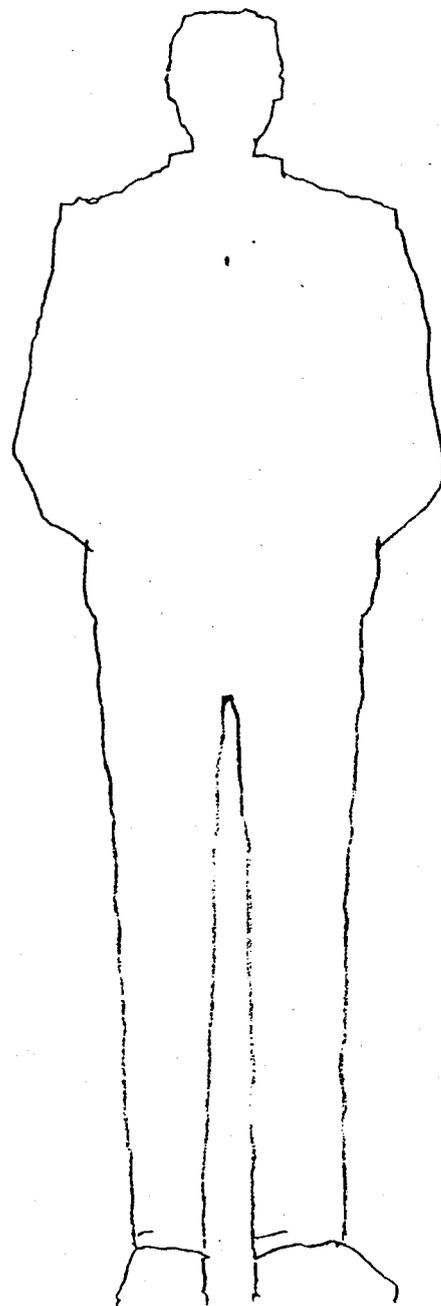
1. バス停周辺案内サイン



3-3-1 PCコンクリートによるサイン(2)

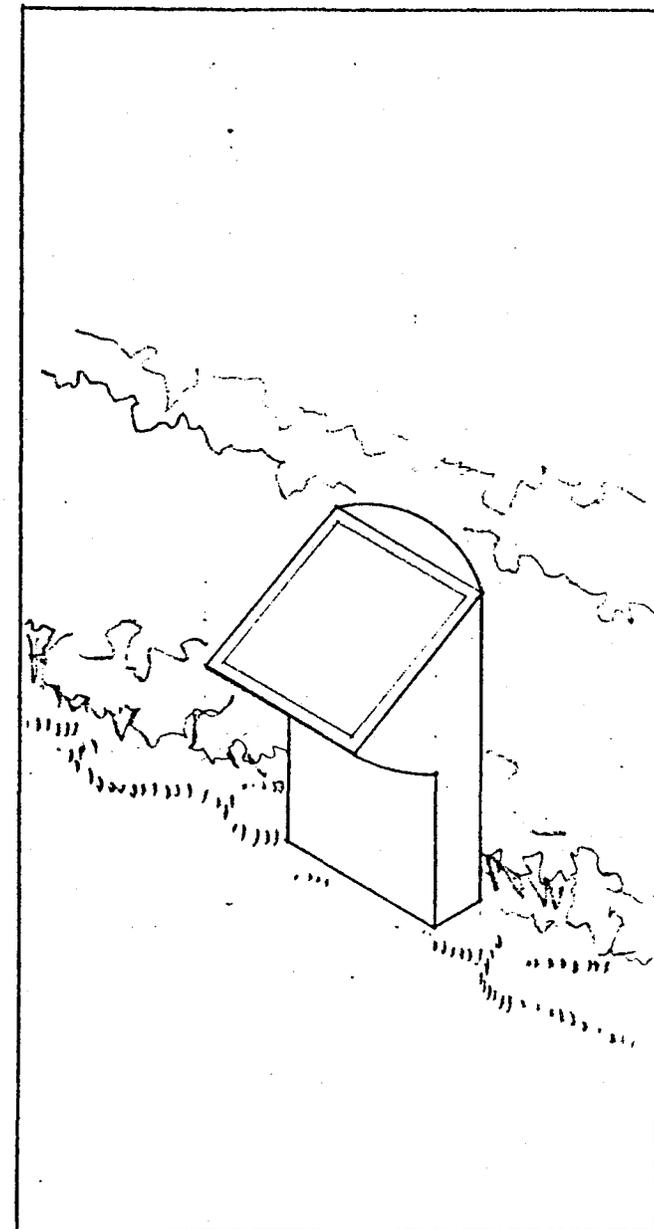
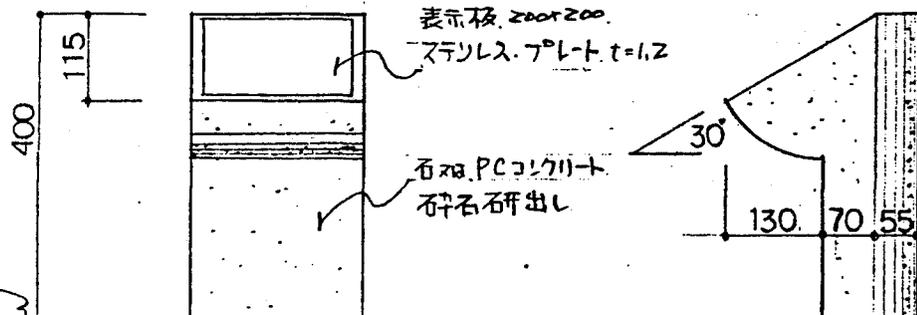
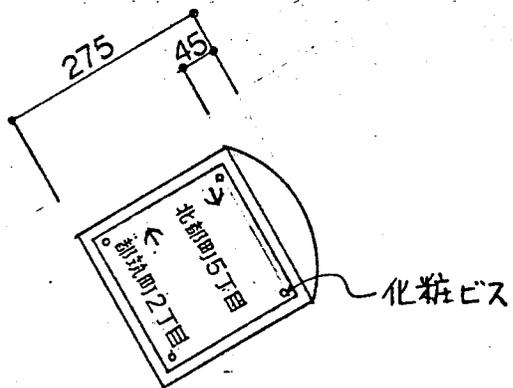
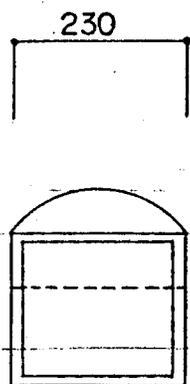
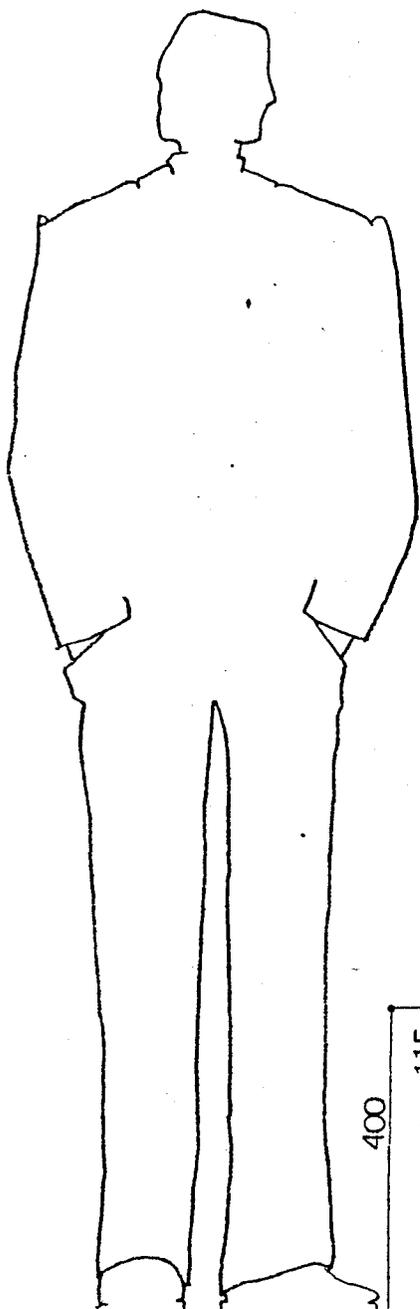
2. まちかどサイン(小-1)

—コレクター道路誘導サイン—



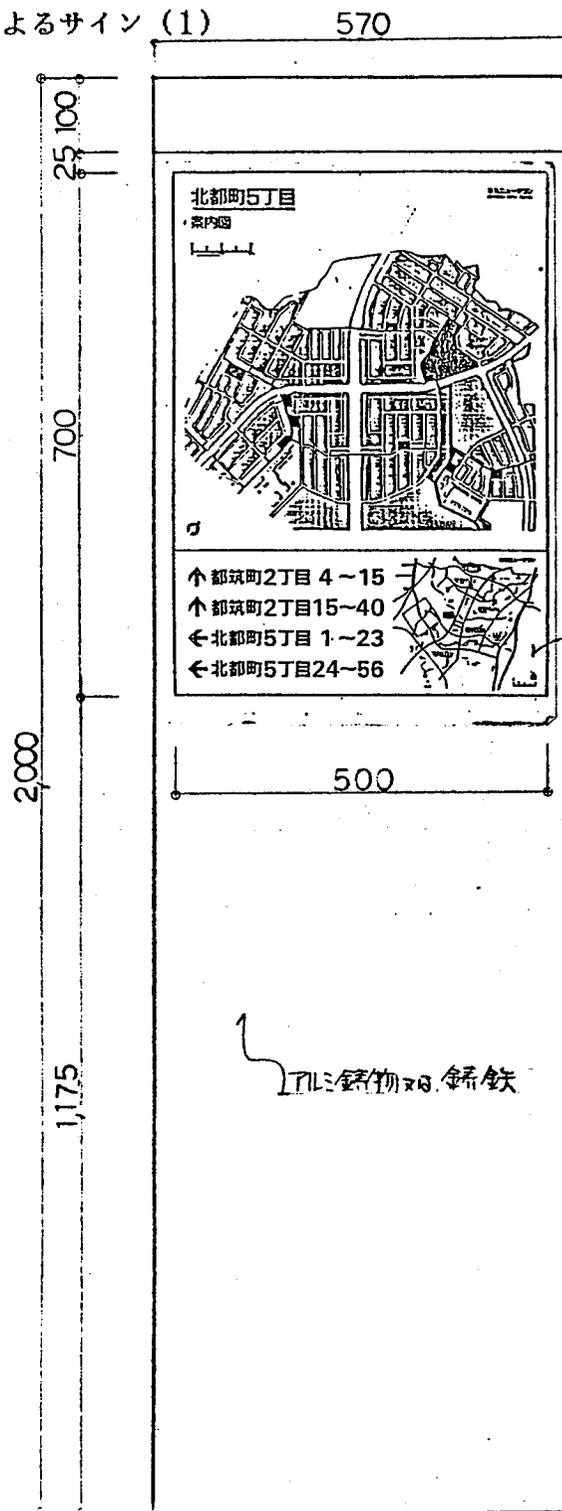
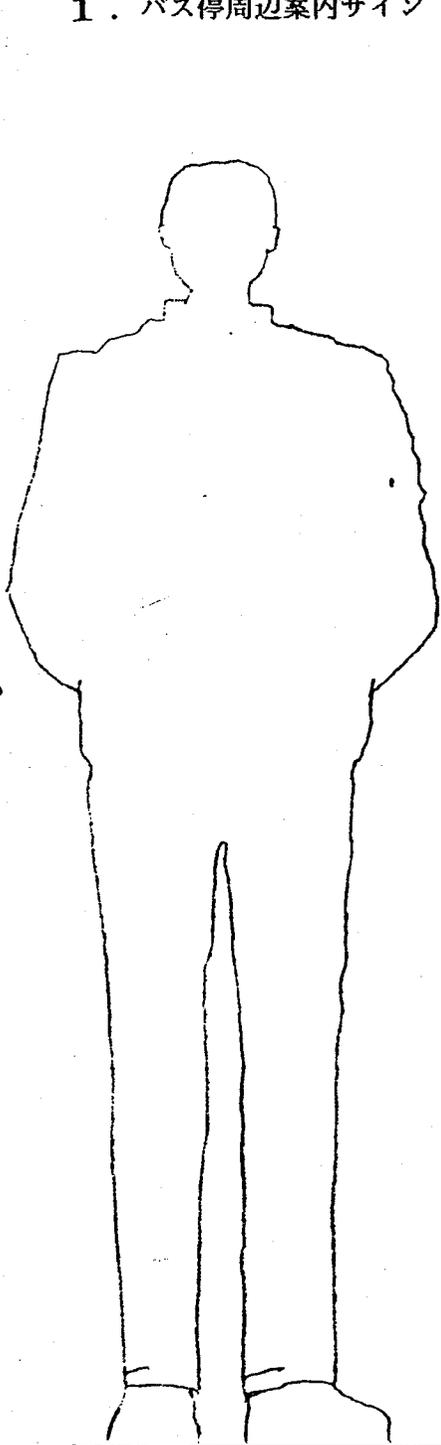
3-3-1 PCコンクリートによるサイン(3)

3. まちかどサイン(小-2) — 歩行者専用道路及び緑道内誘導サイン —

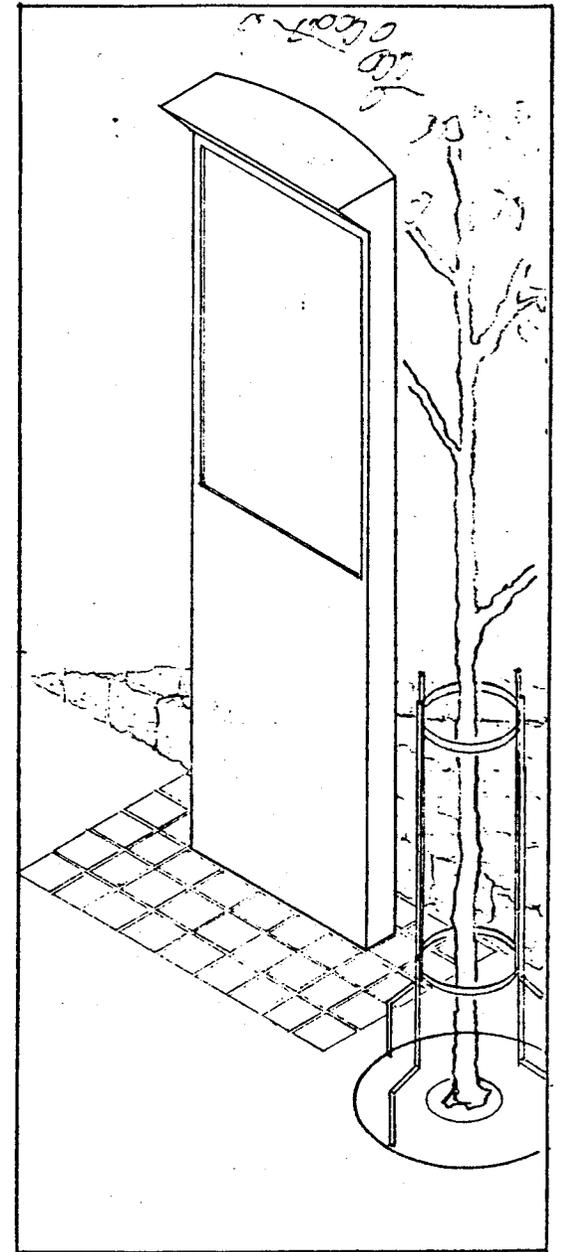
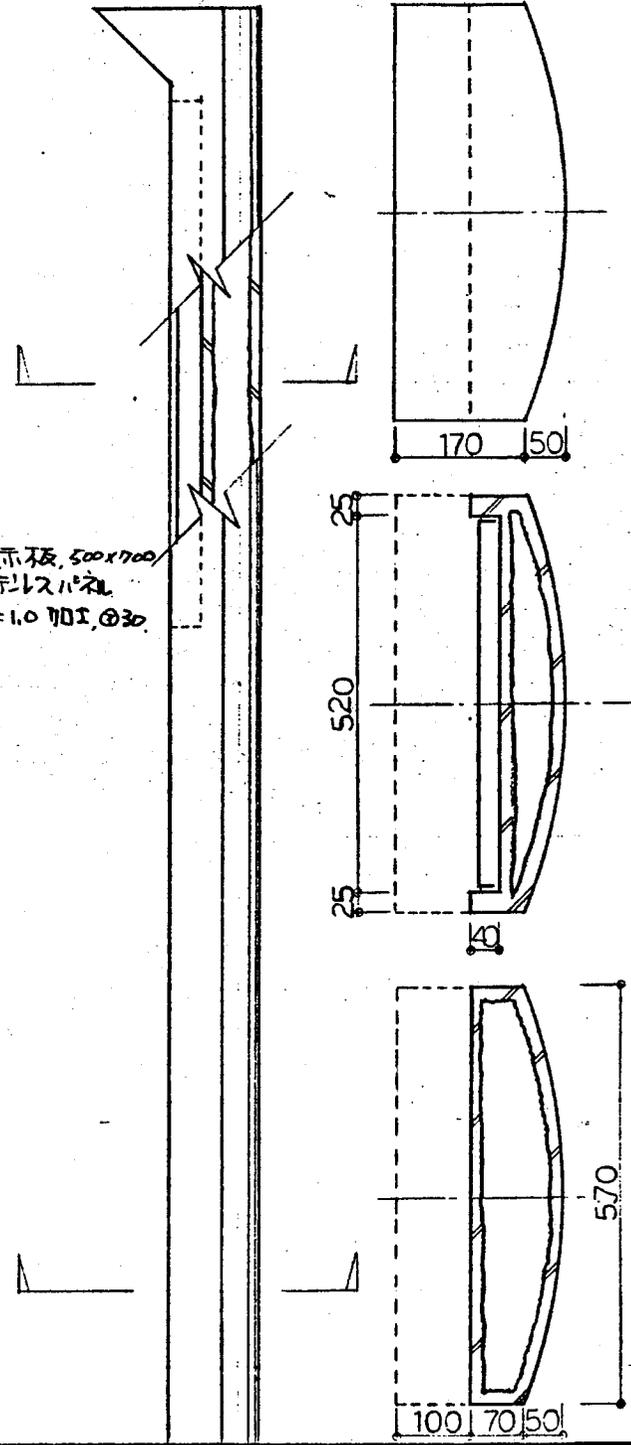


3-3-2 メタルキャストによるサイン (1)

1. バス停周辺案内サイン



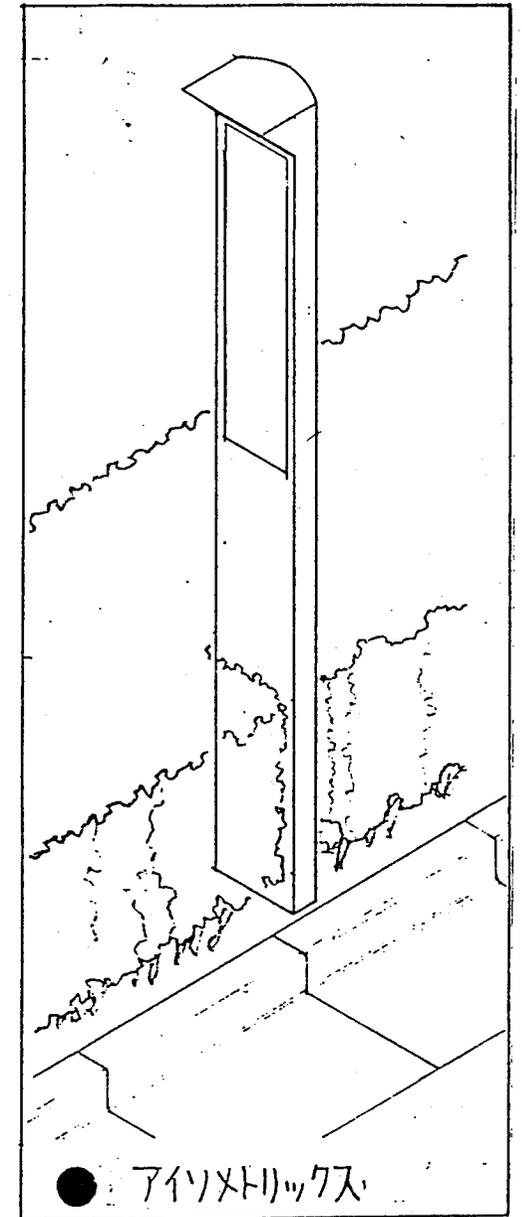
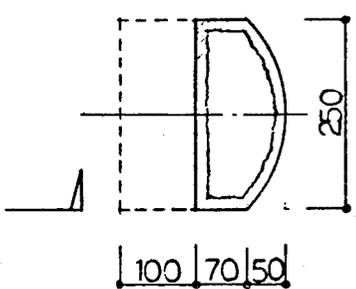
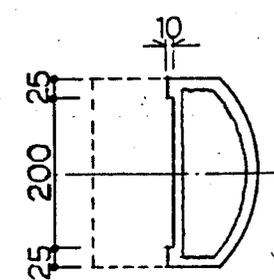
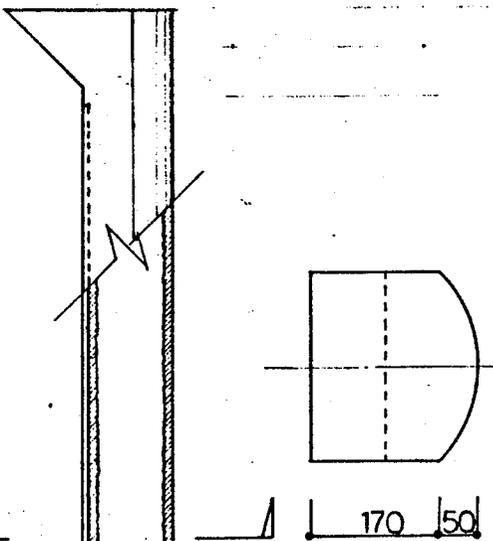
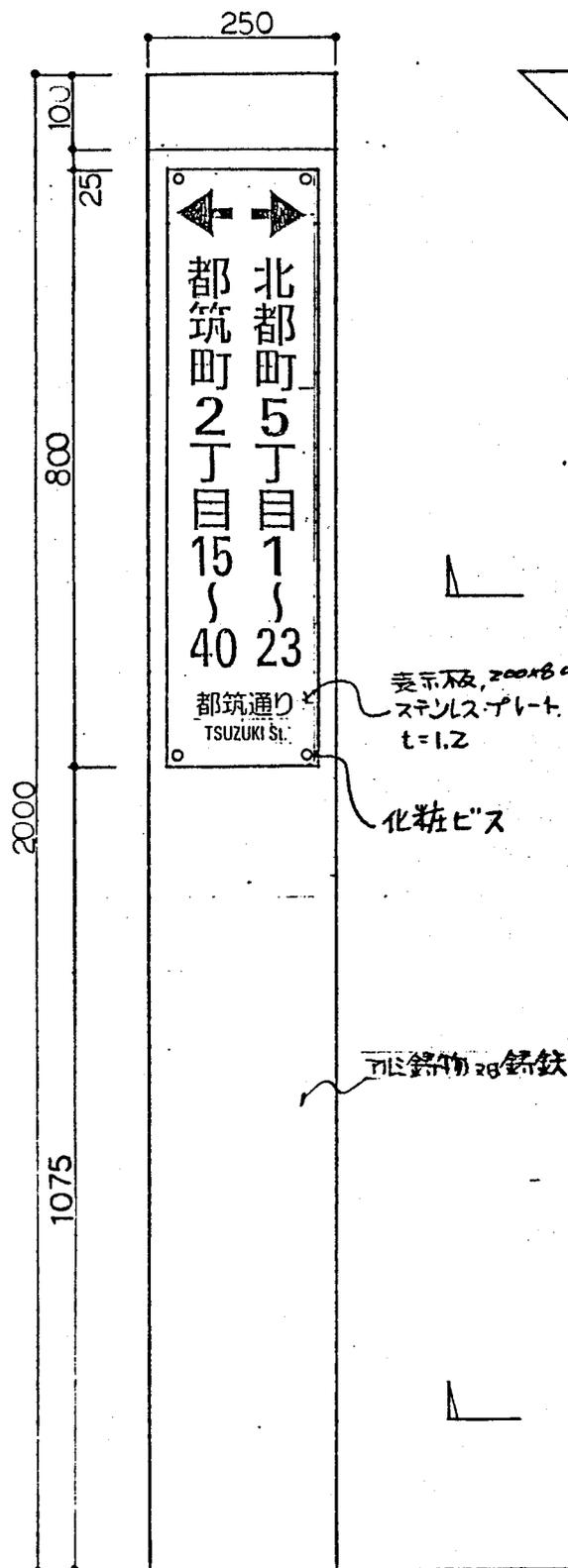
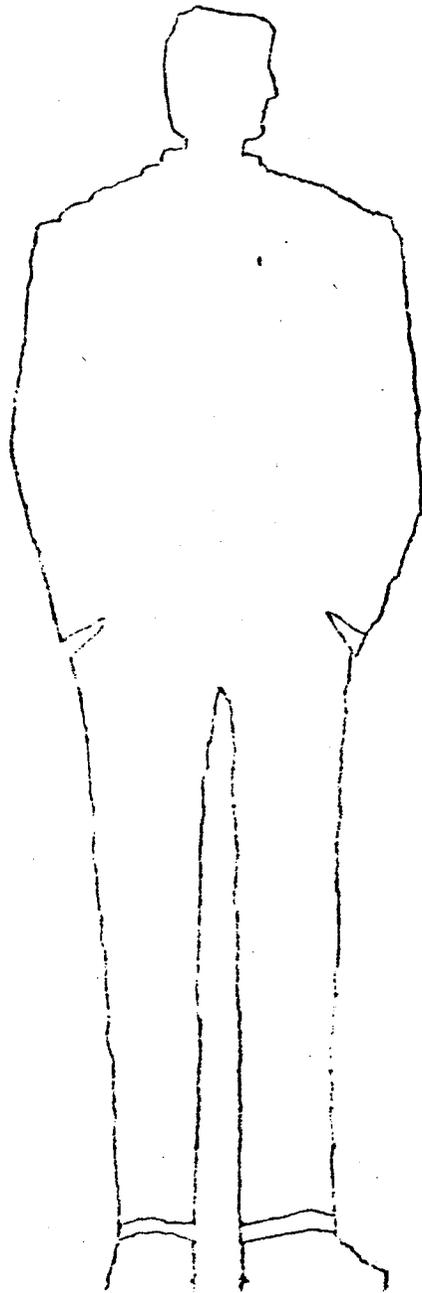
表示板, 500x700
ステンレスパネ
t=1.0mm, R30



3-3-2 メタルキャストによるサイン(2)

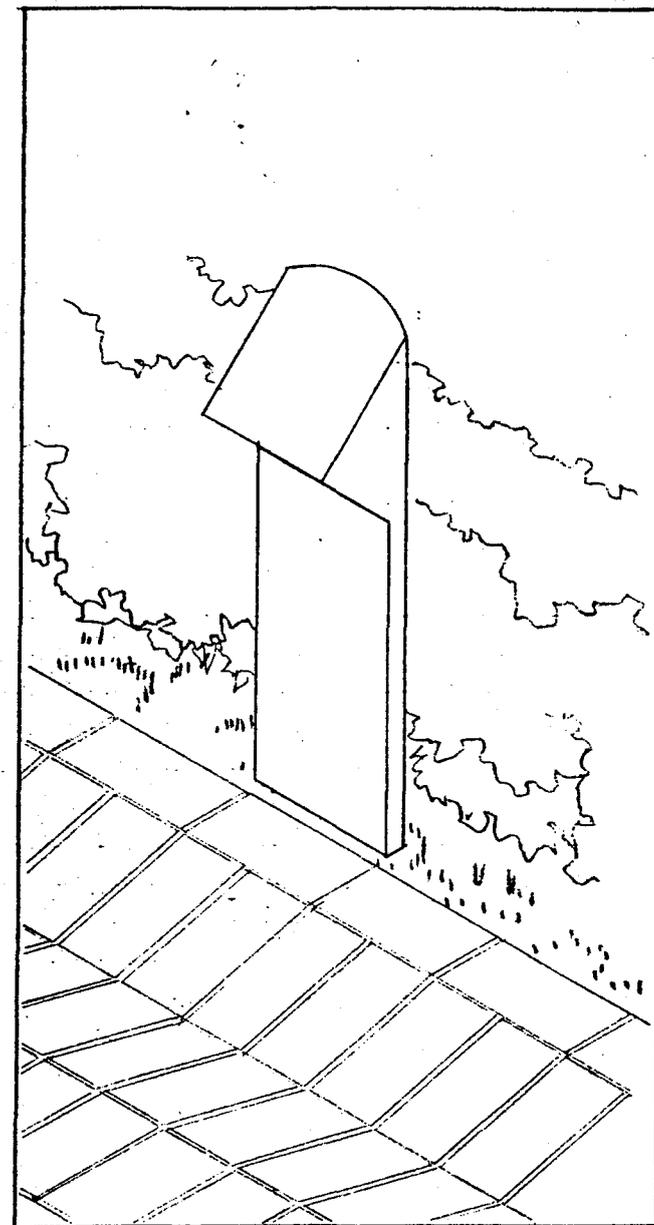
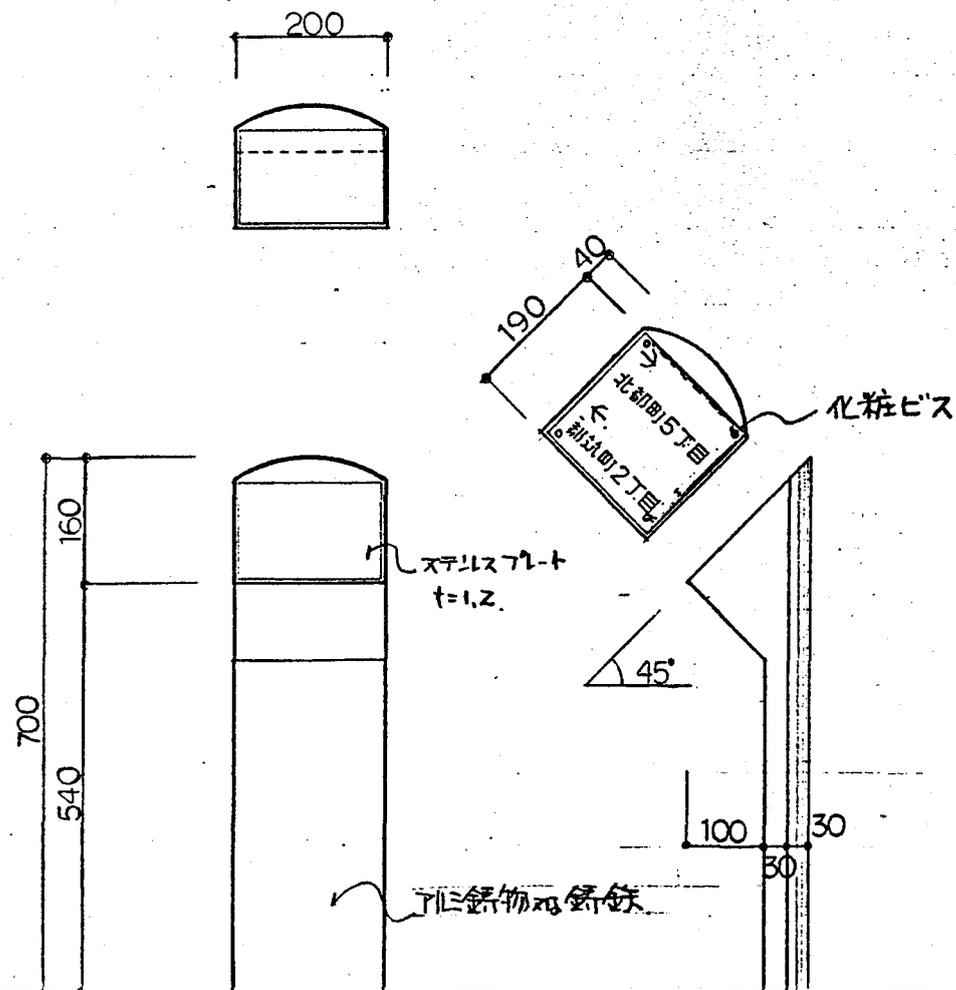
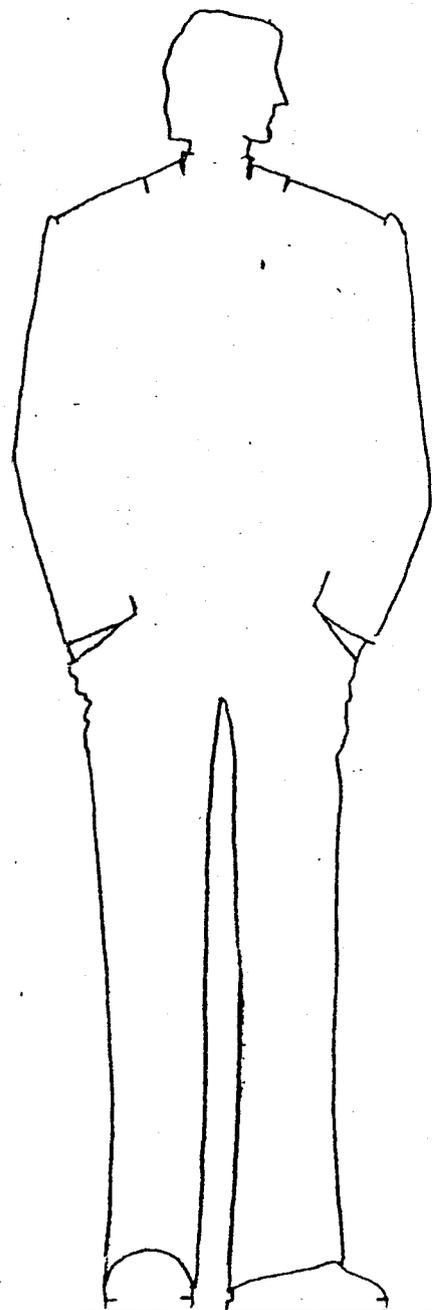
2. まちかどサイン(小-1)

—コレクター道路誘導サイン—



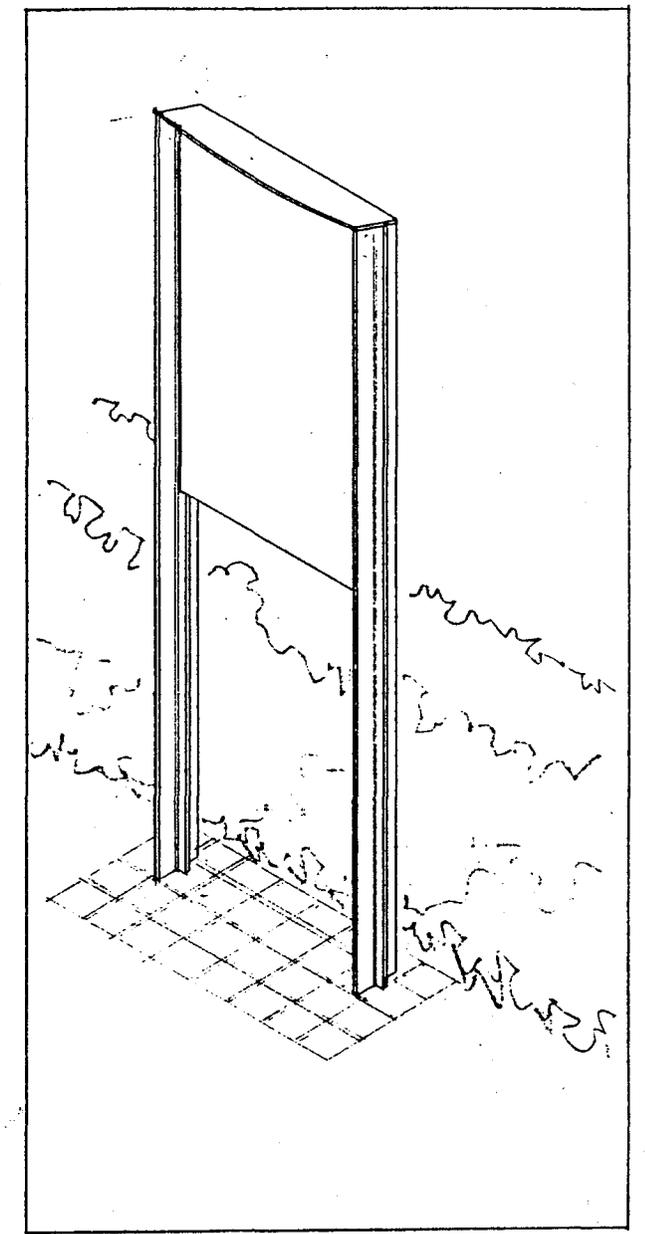
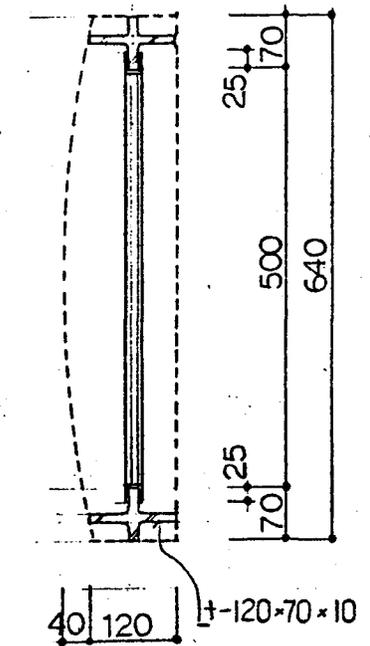
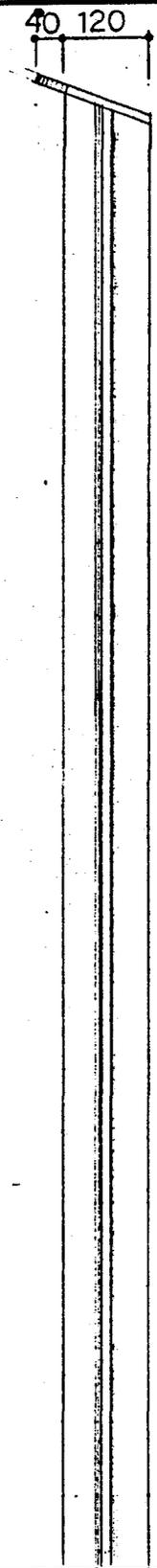
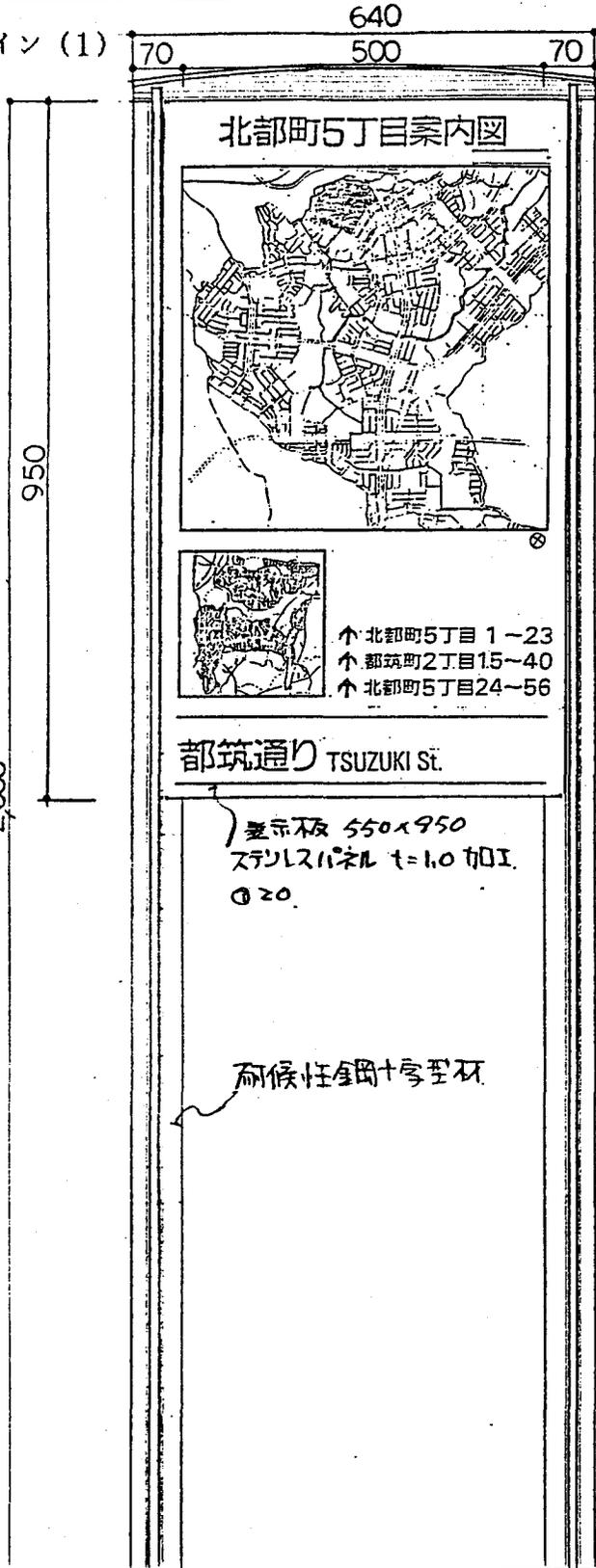
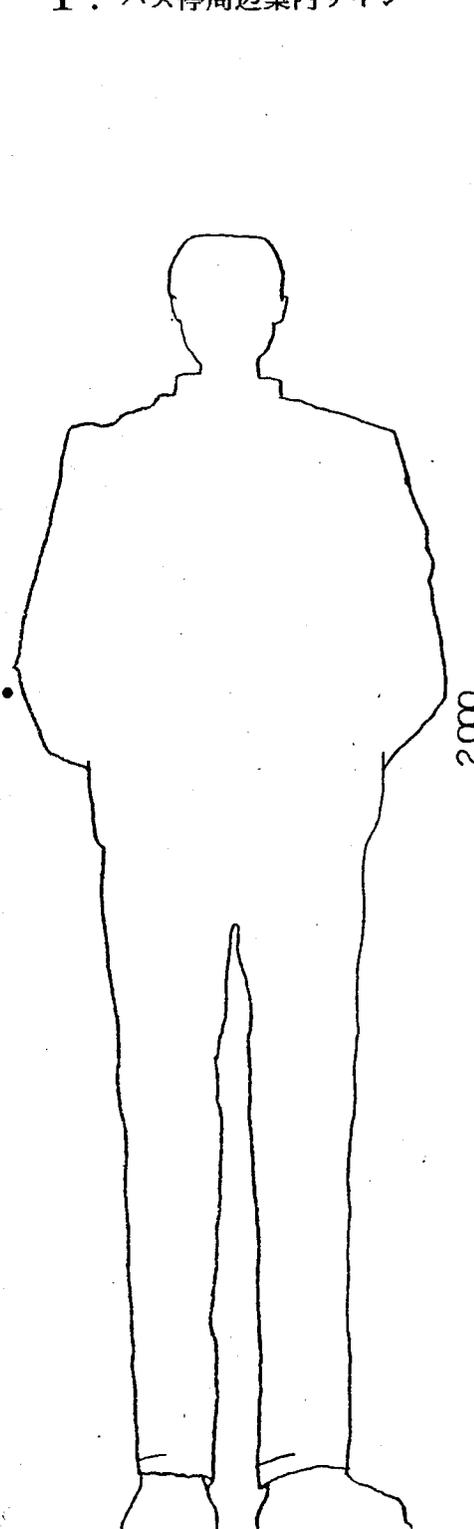
3-3-2 メタルキャストによるサイン(3)

3. まちかどサイン(小-2) — 歩行者専用道路及び緑道内誘導サイン —



3-3-3 耐候性鋼によるサイン(1)

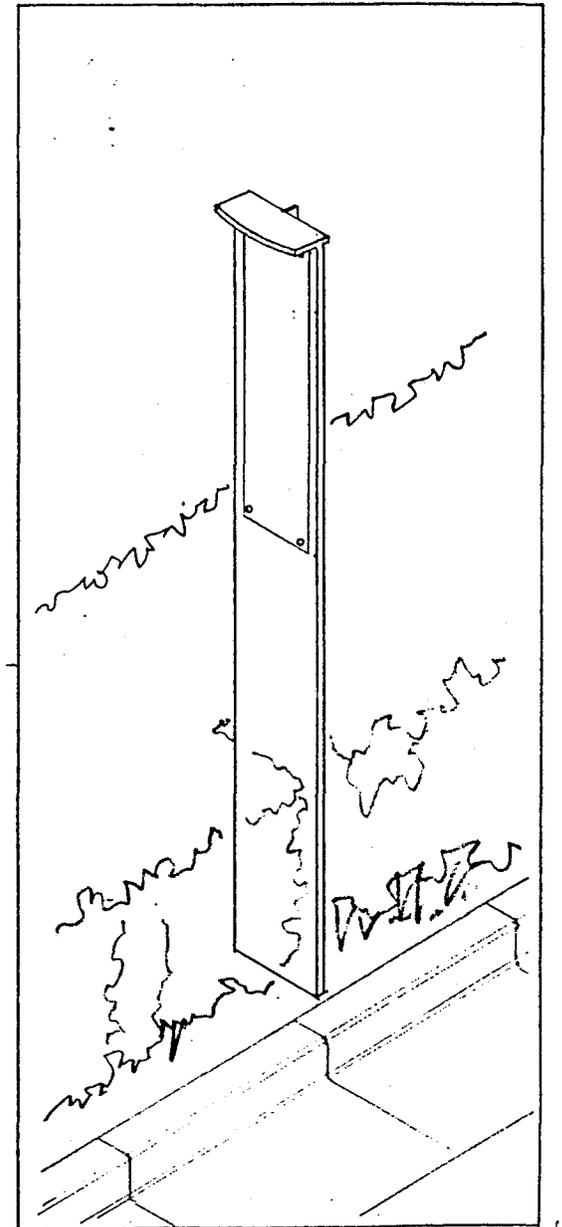
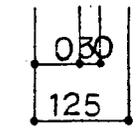
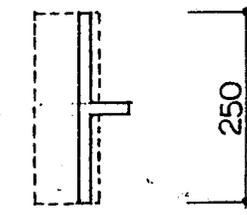
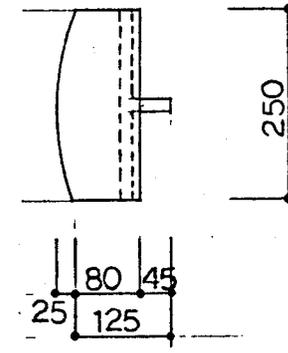
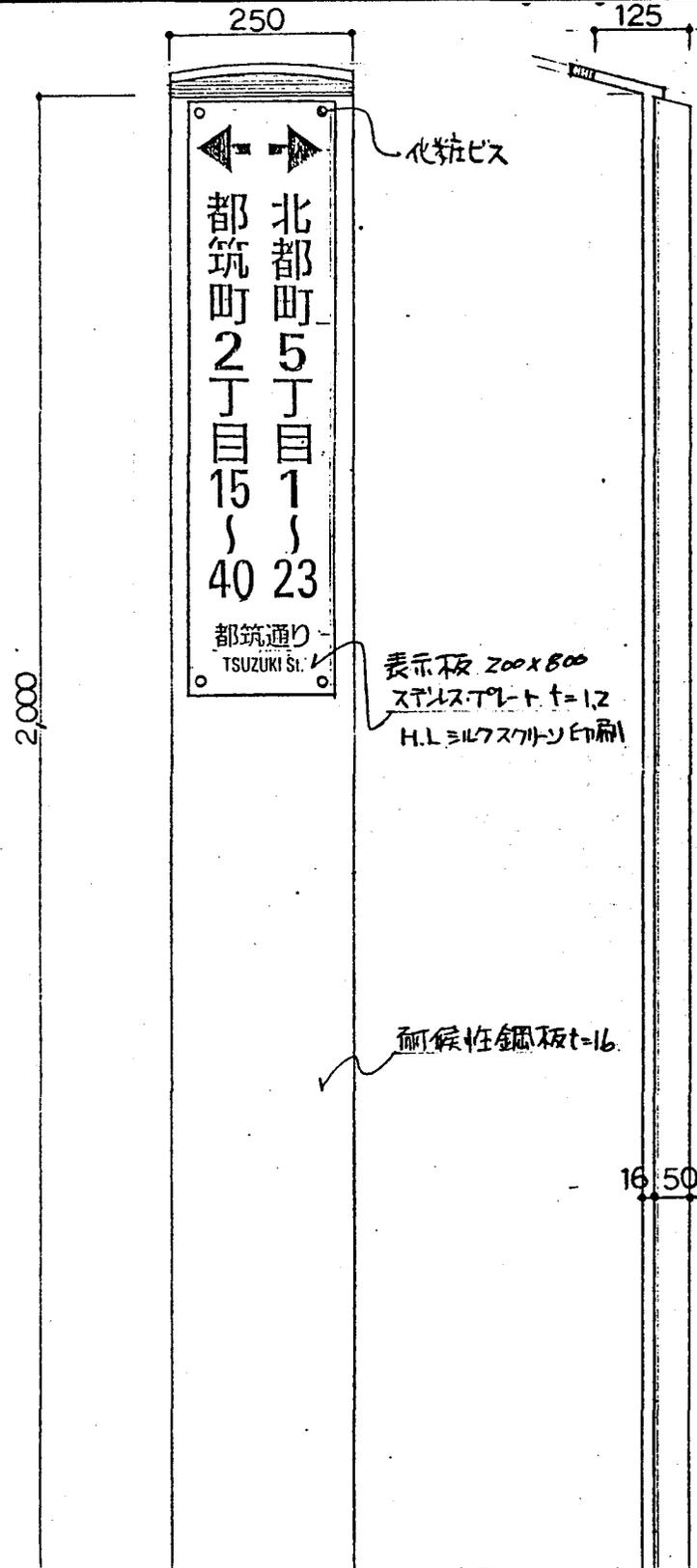
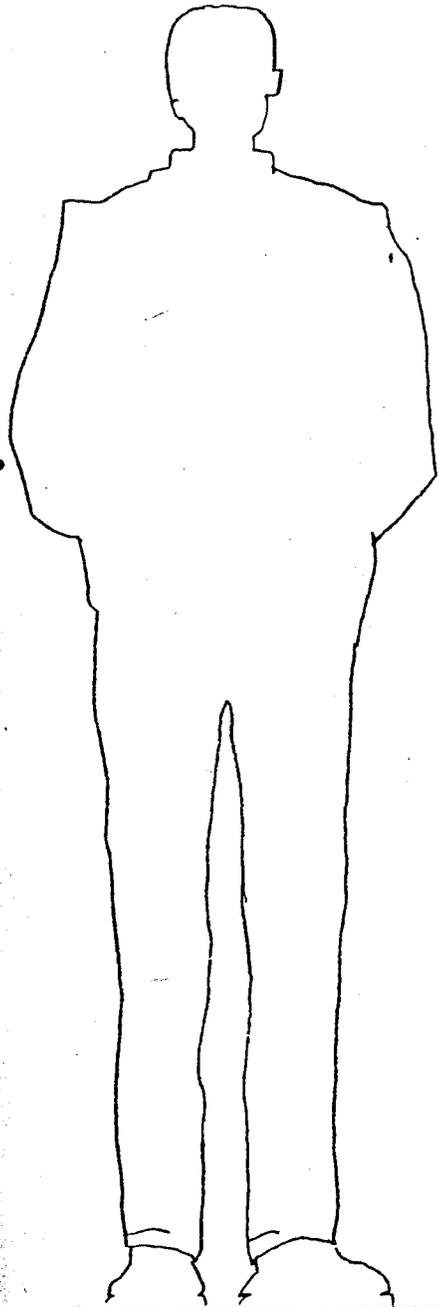
1. バス停周辺案内サイン



3-3-3 耐候性鋼によるサイン(2)

2. まちかどサイン(小-1)

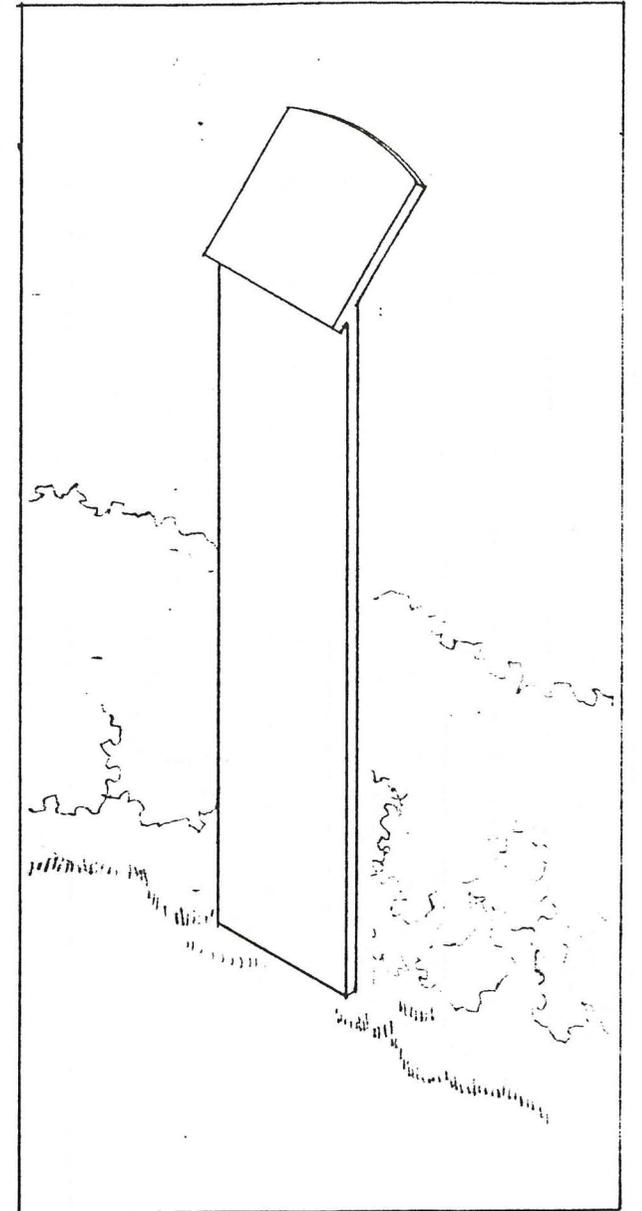
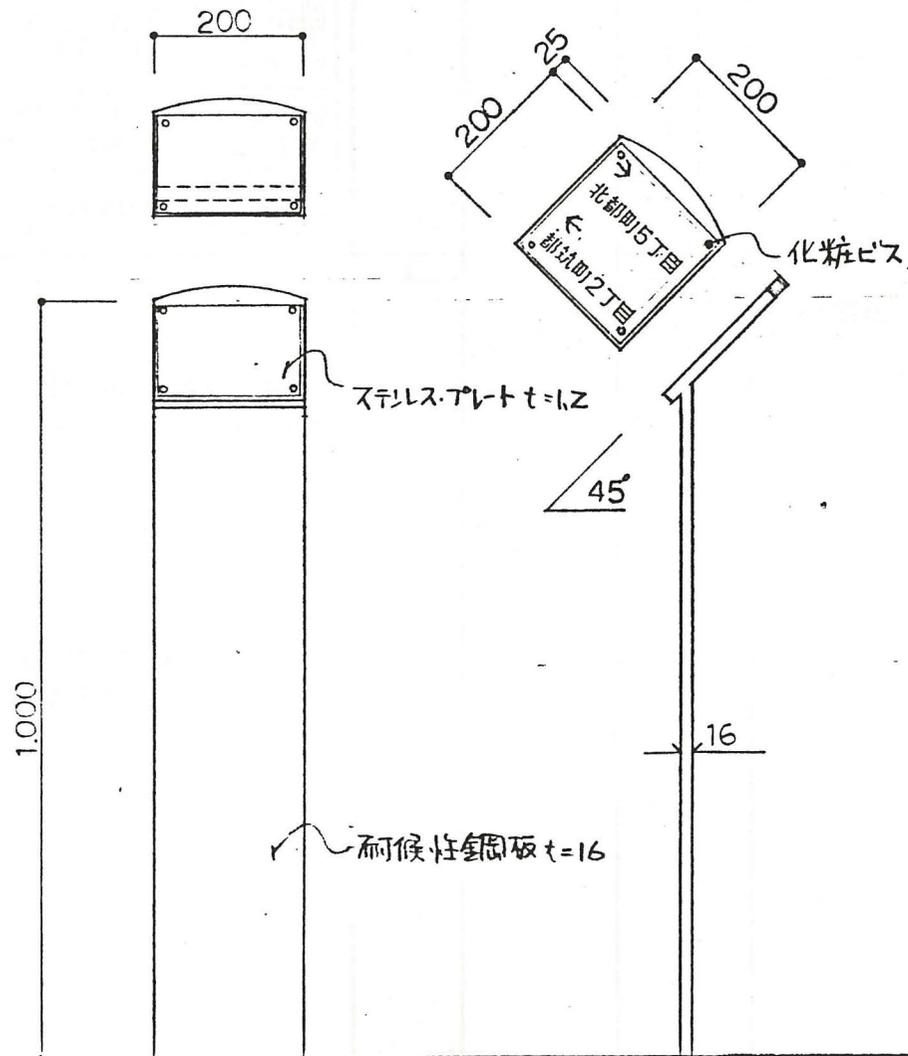
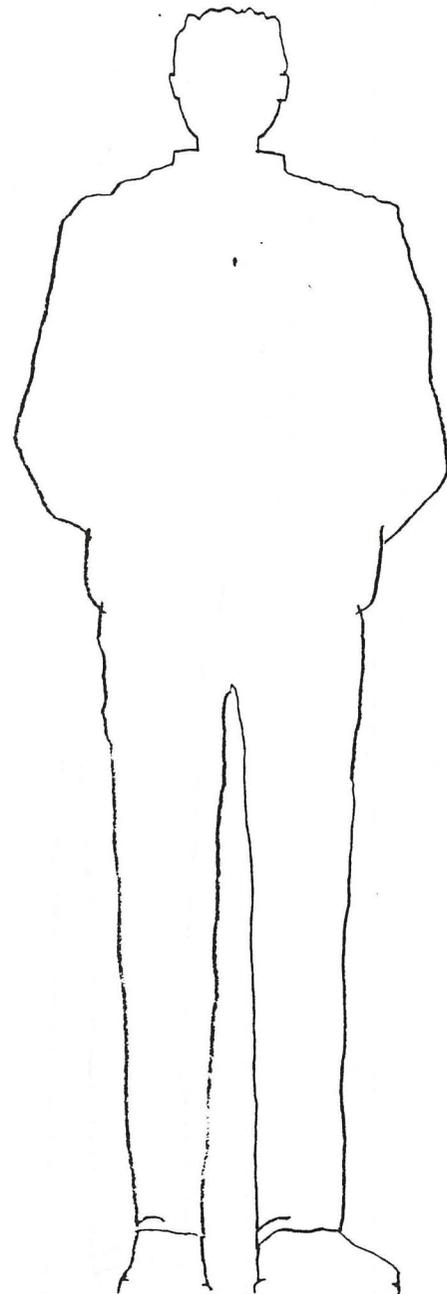
— コレクター道路誘導サイン —



3-3-3 耐候性鋼によるサイン(3)

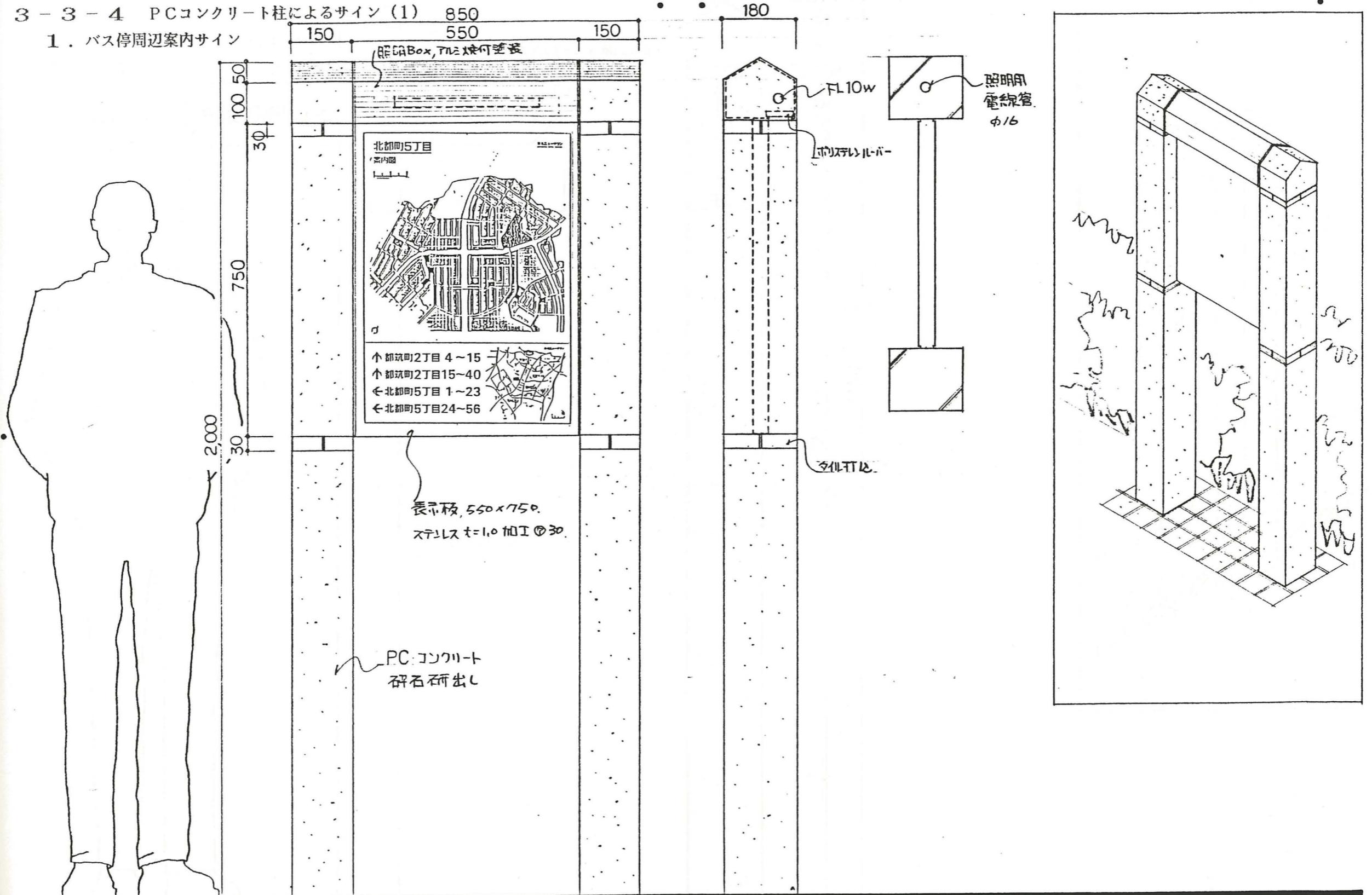
3. まちかどサイン(小-2)

— 歩行者専用道路及び緑道内誘導サイン —



3-3-4 PCコンクリート柱によるサイン(1) 850

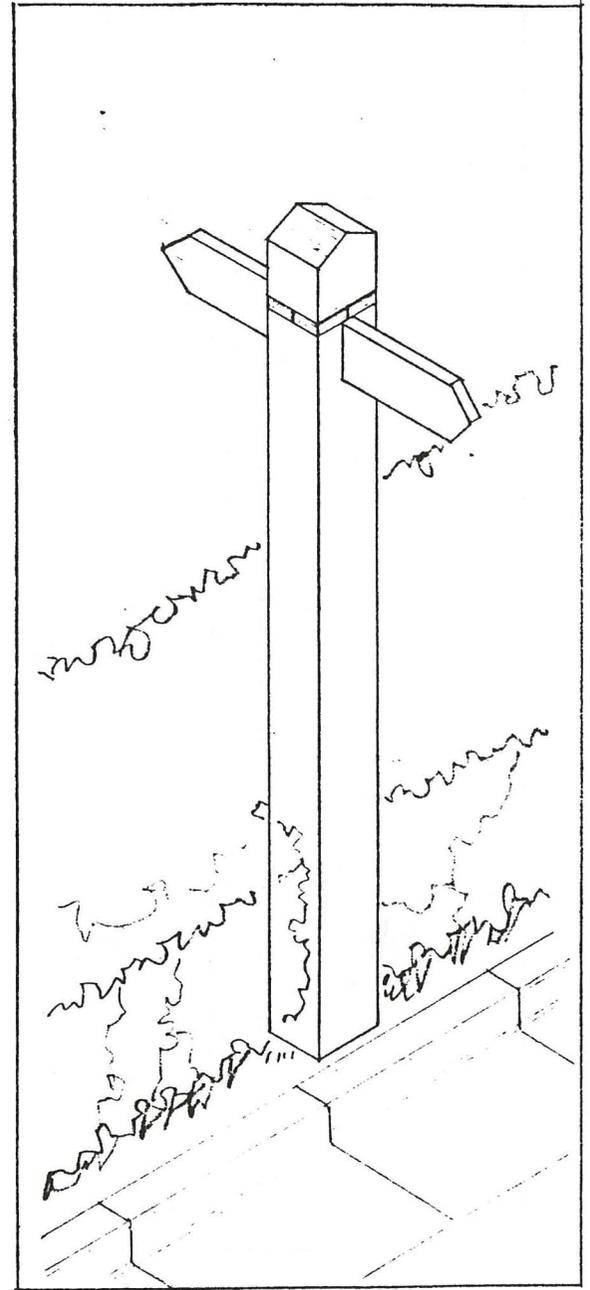
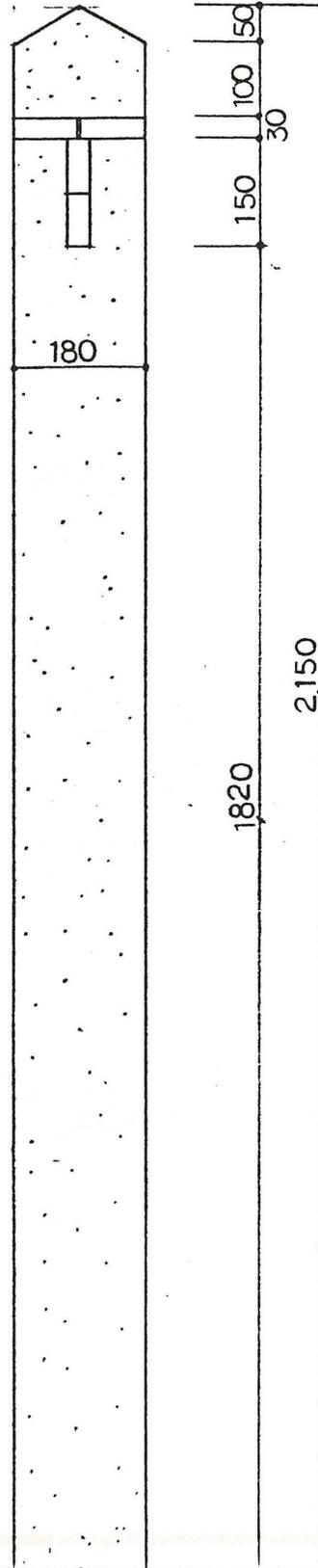
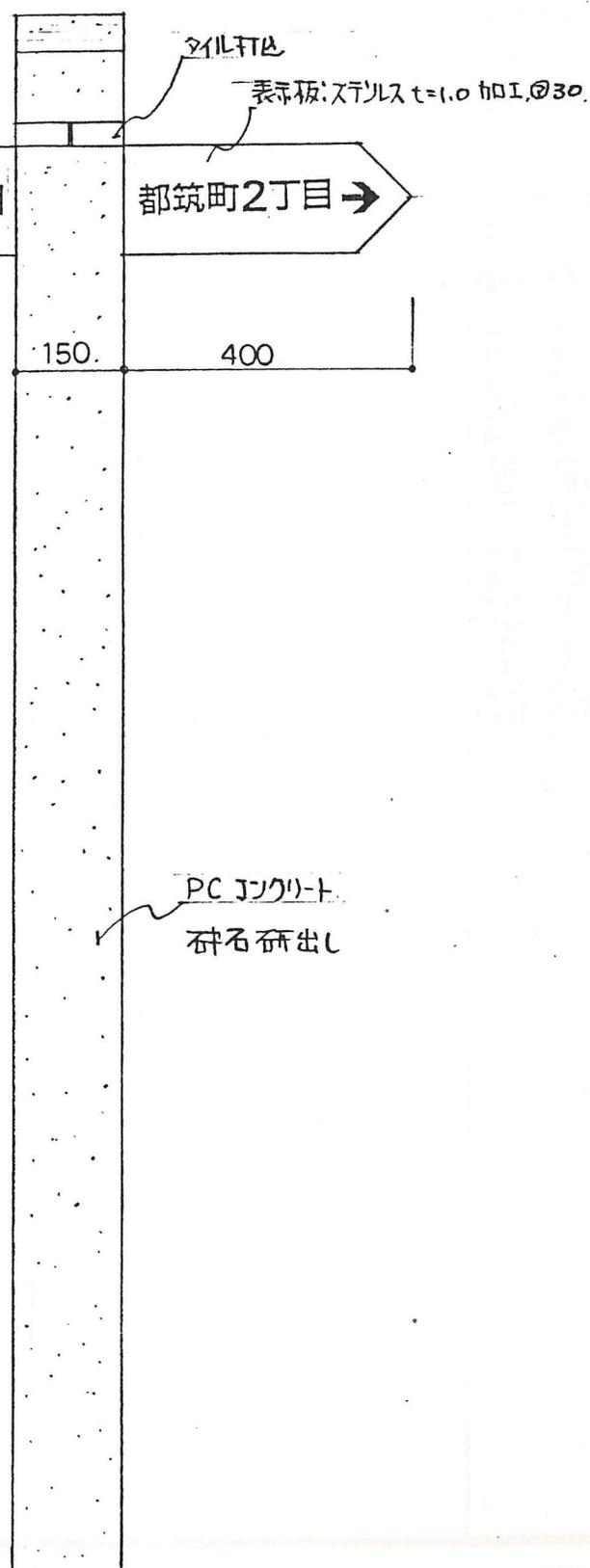
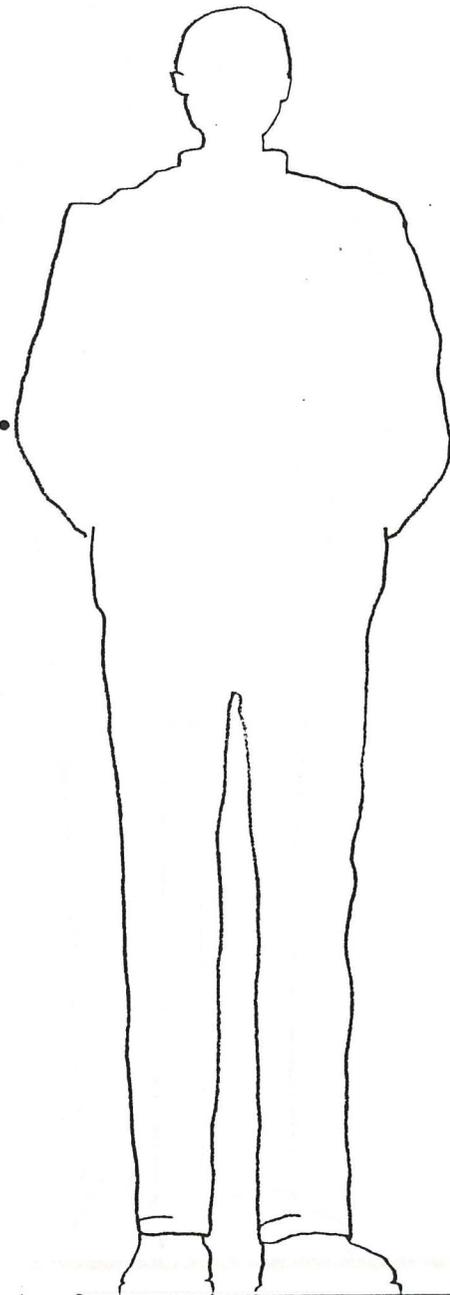
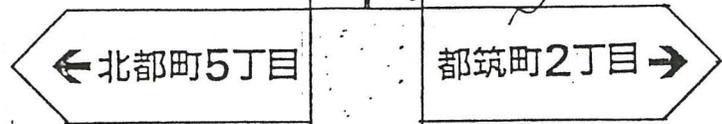
1. バス停周辺案内サイン



3-3-4 PCコンクリート柱によるサイン(2)

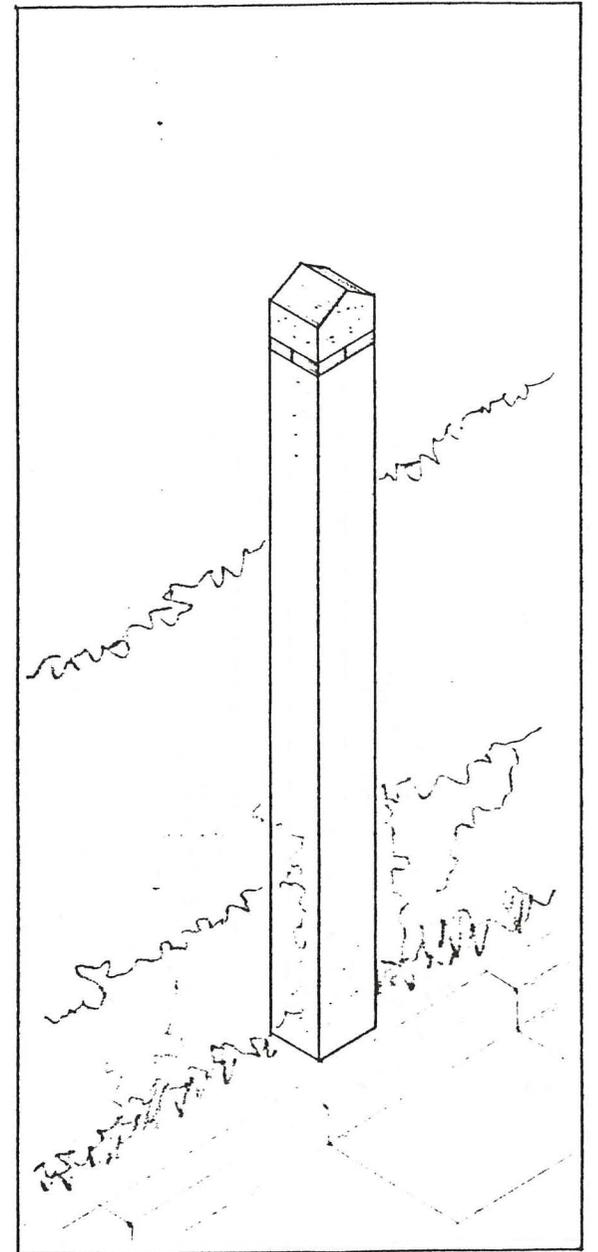
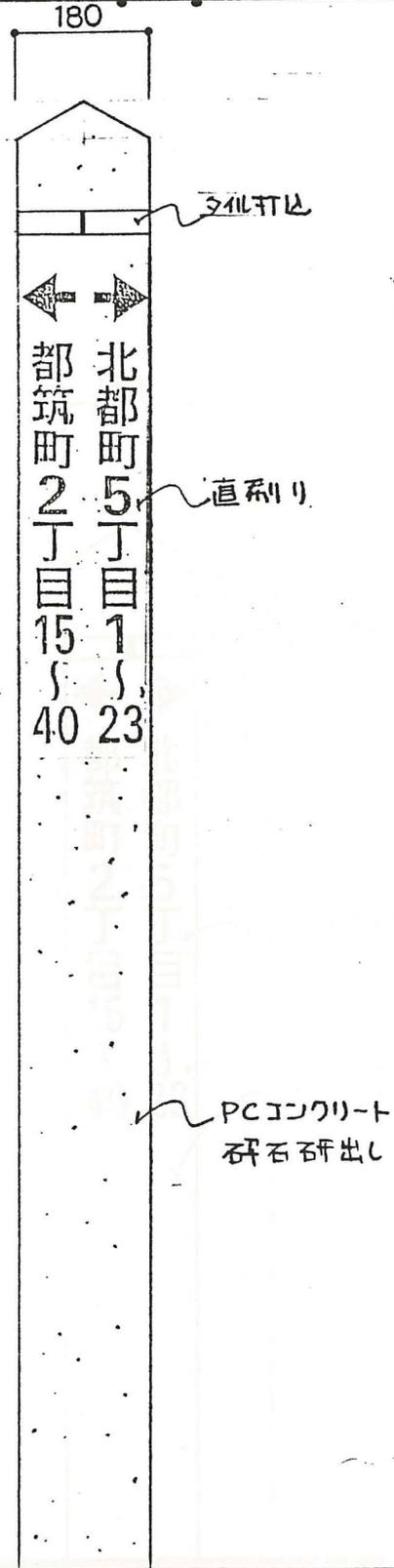
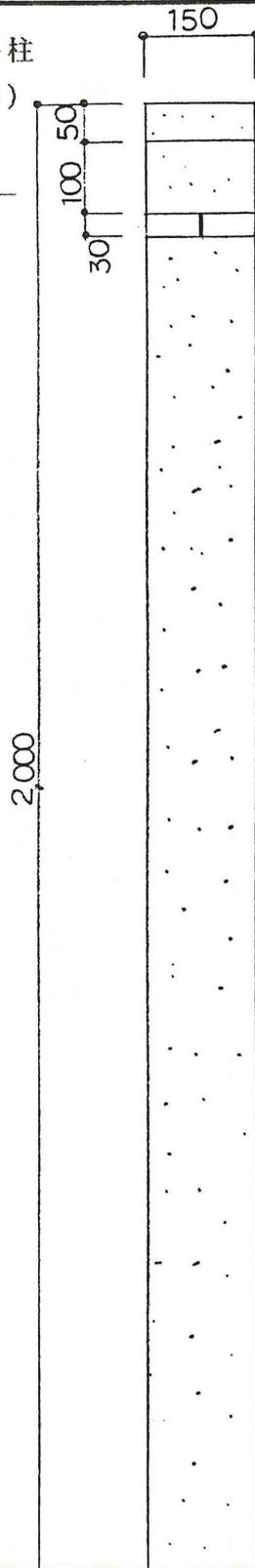
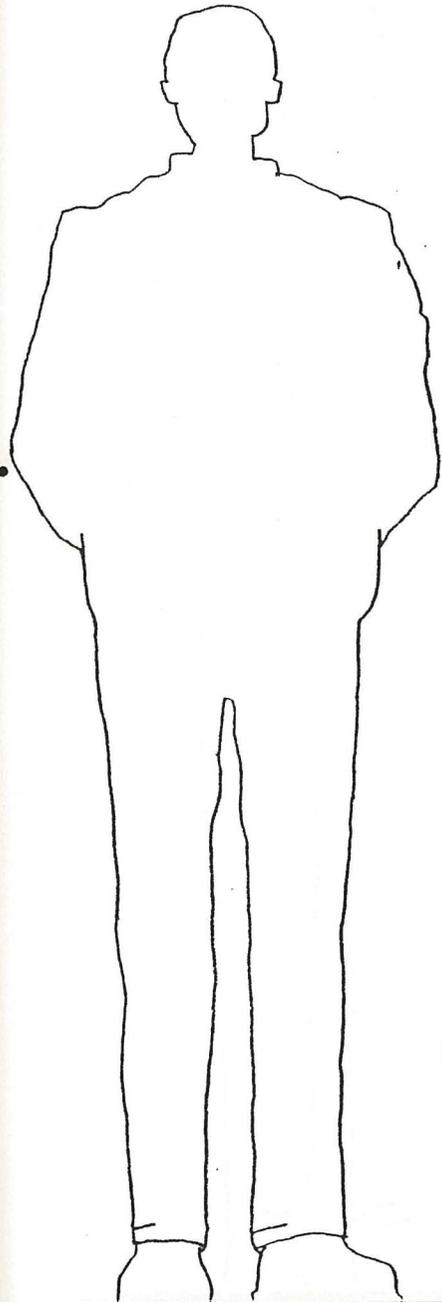
2. まちかどサイン(小-1)そで付型

—コレクター
道路誘導
サイン—



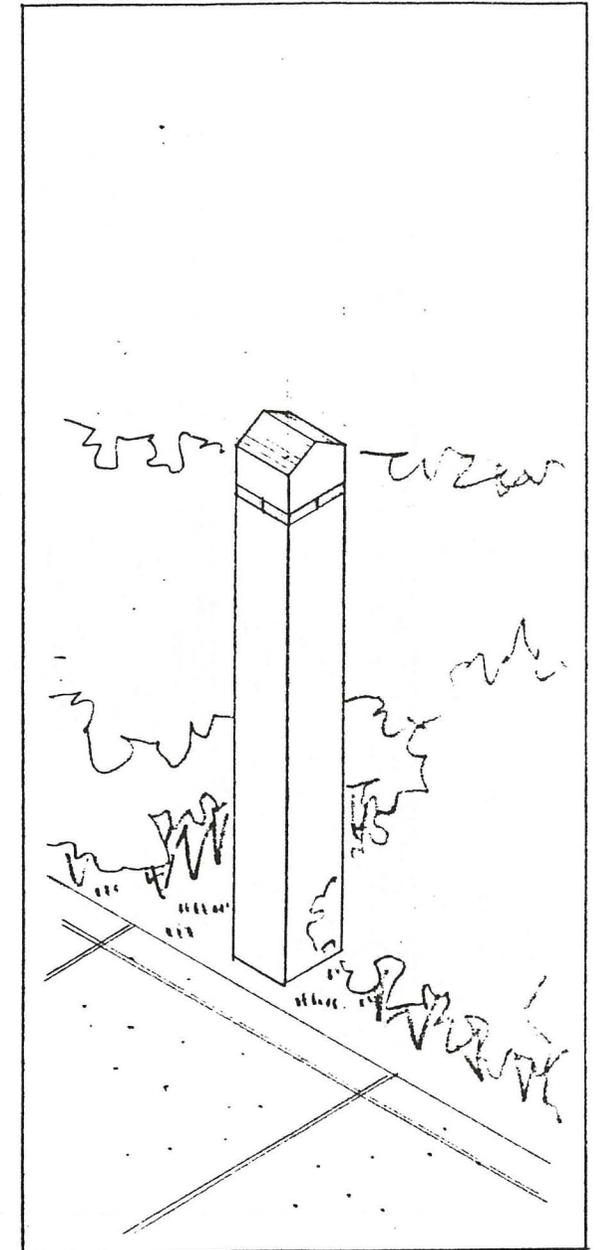
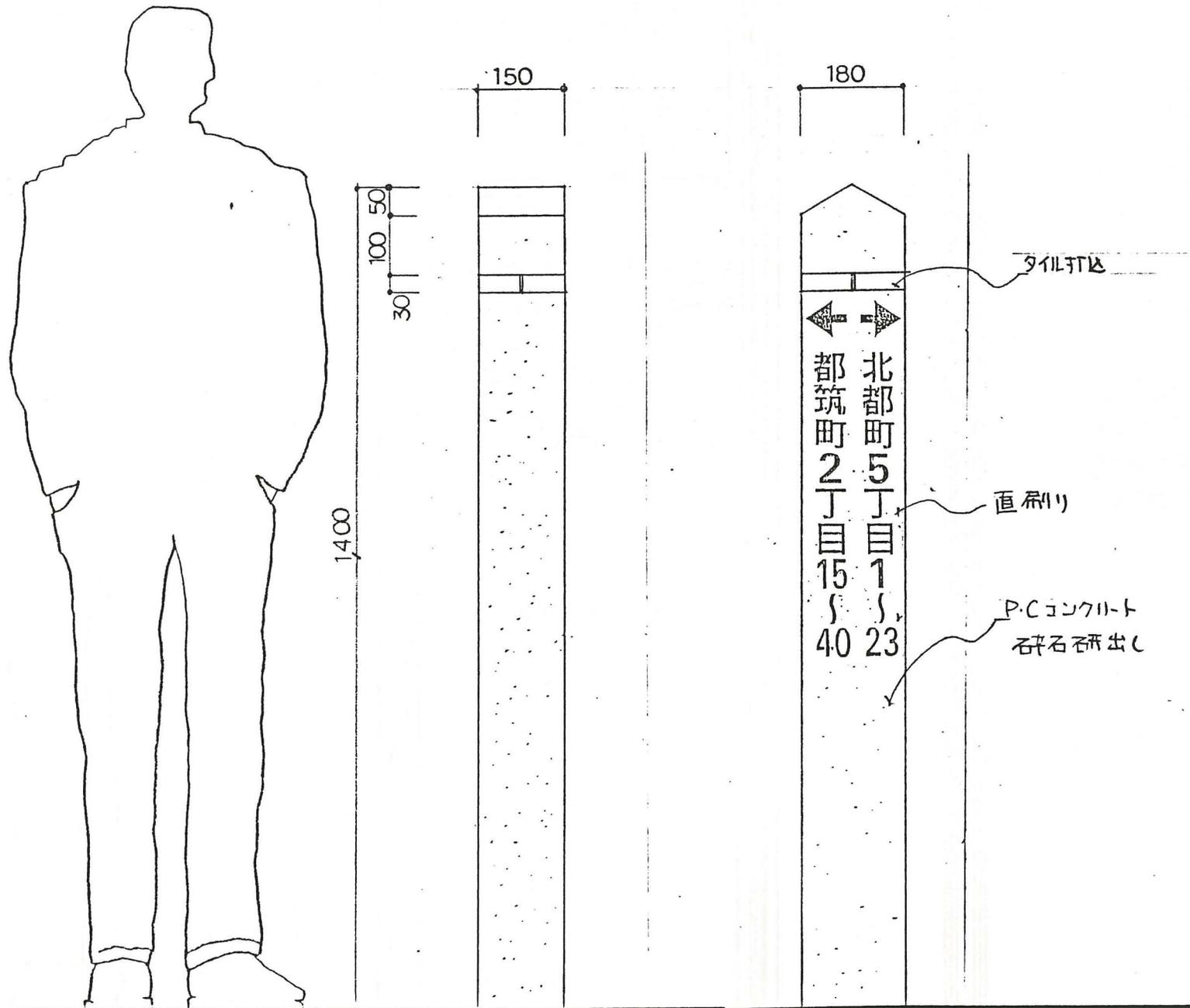
3-3-4 PCコンクリート柱
によるサイン (3)

3. まちかどサイン (小-1)
— コレクター道路誘導サイン —



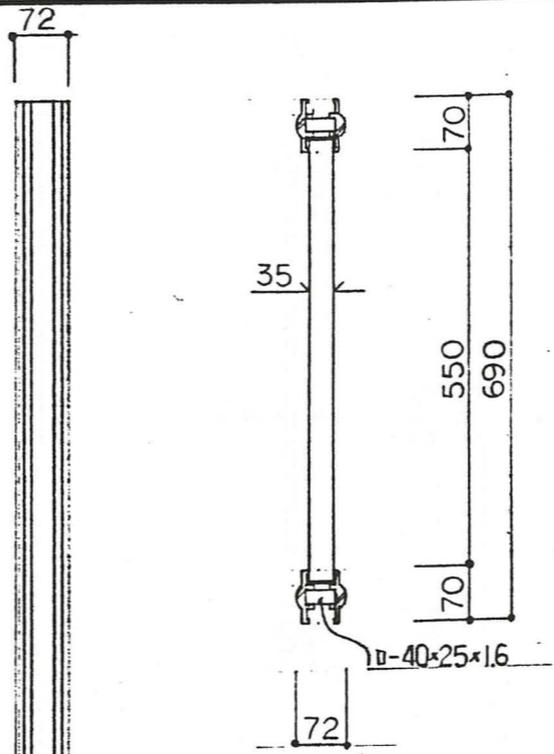
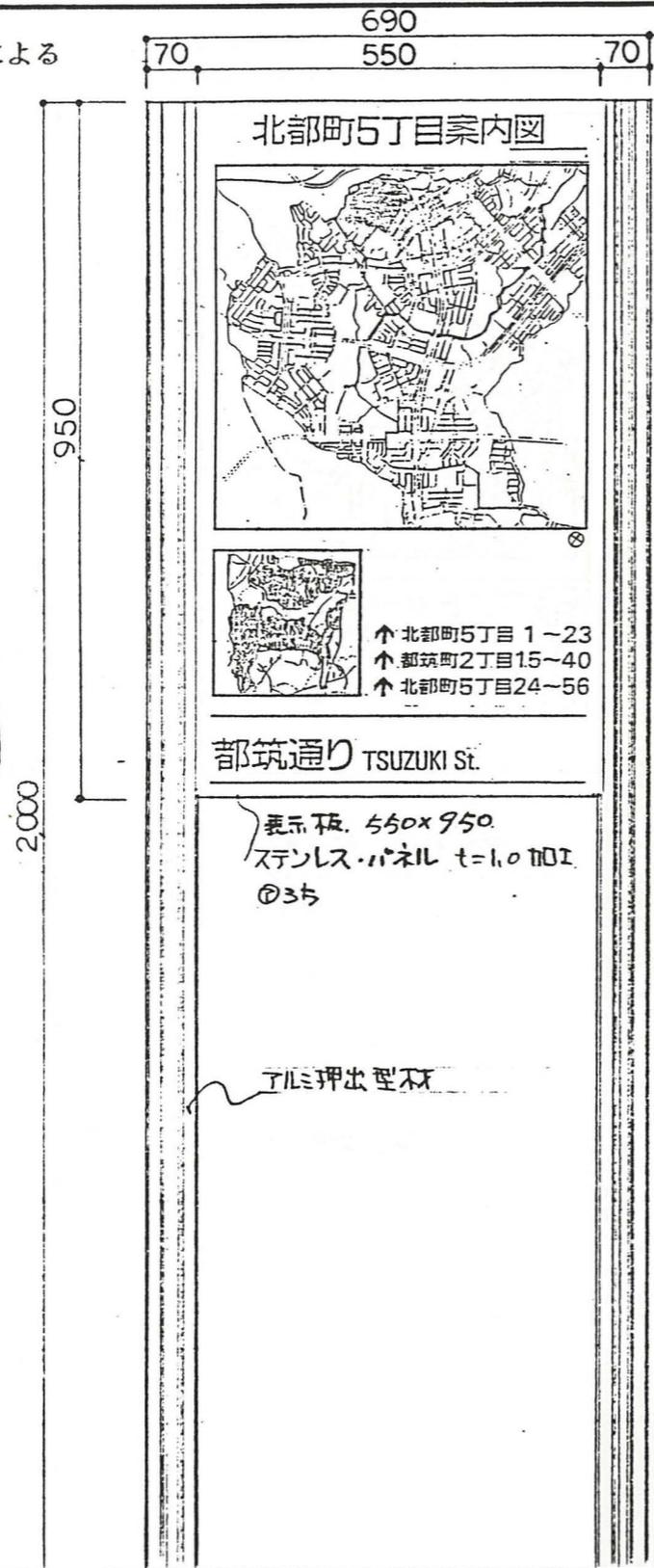
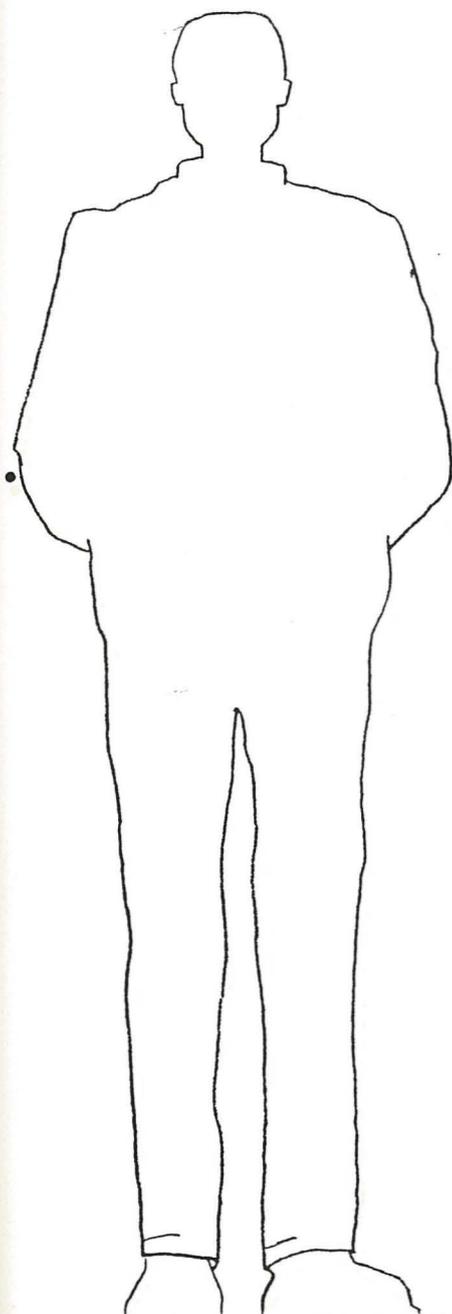
3-3-4 PCコンクリート柱によるサイン(4)

4. まちかどサイン(小-2) — 歩行者専用道路及び緑道内誘導サイン —

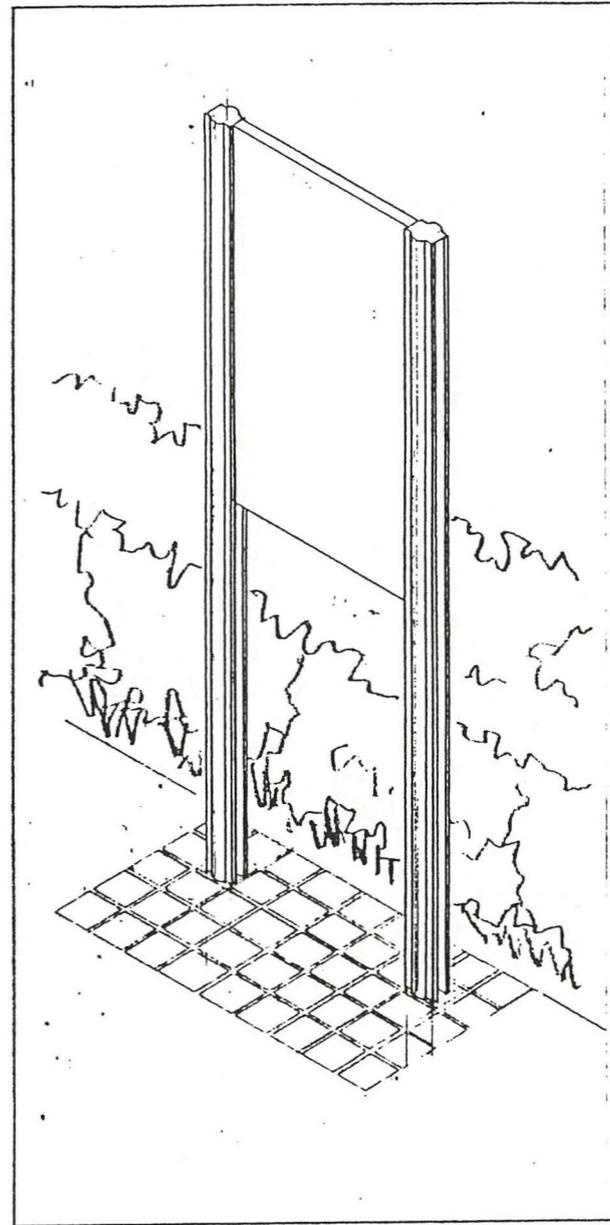


3-3-5 アルミ型材による
サイン(1)

1. バス停周辺
案内サイン(A案)

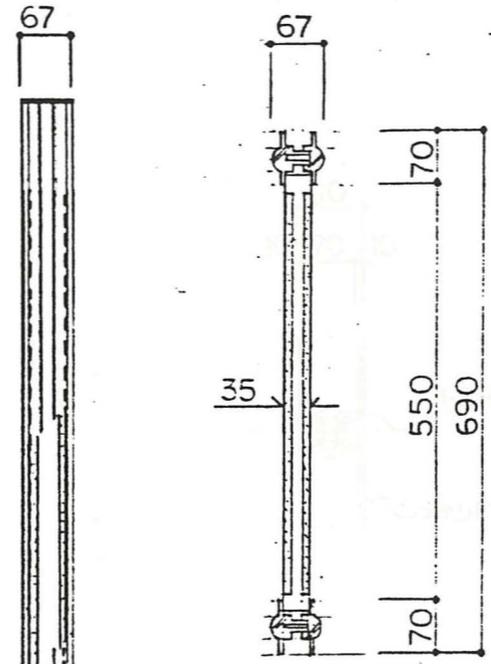
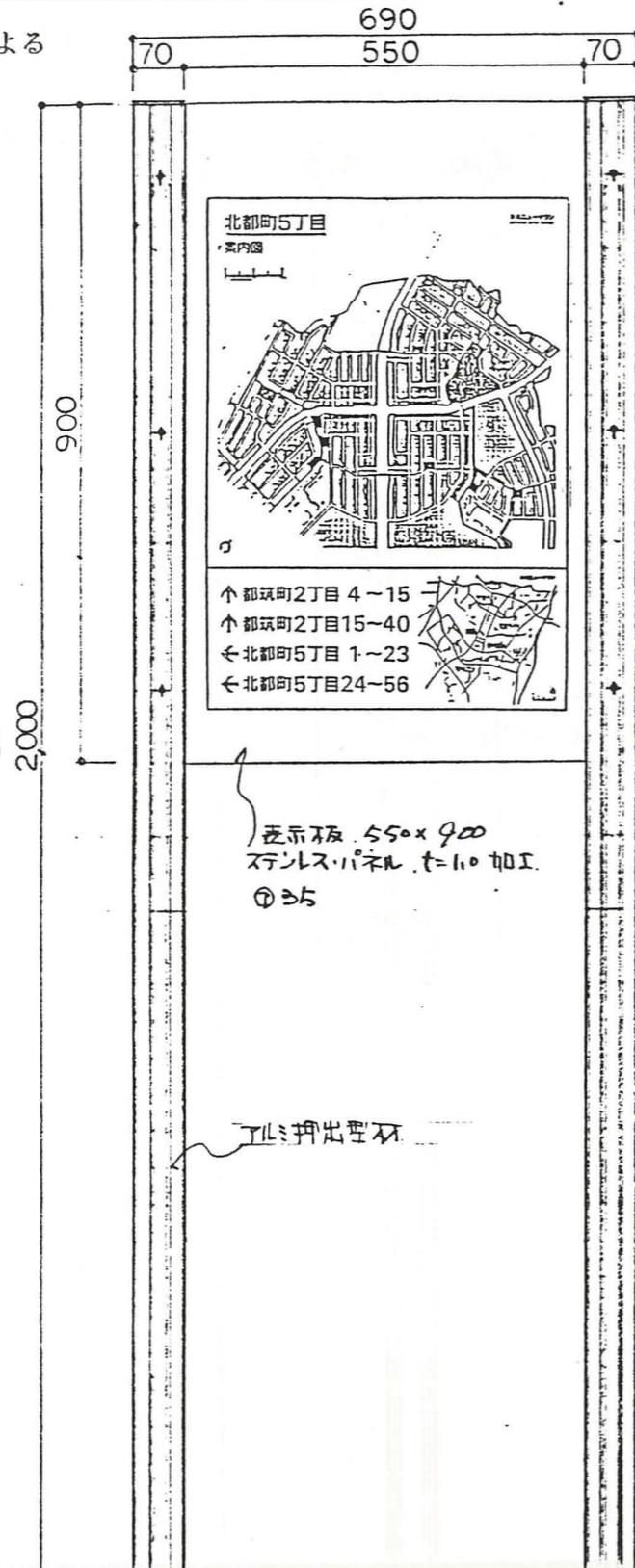
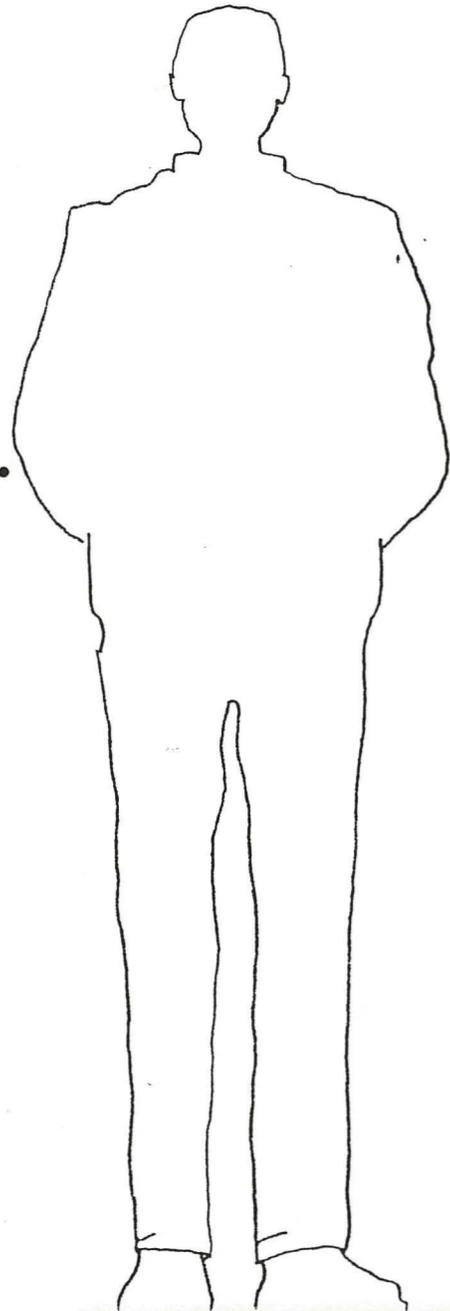


・鋼材を構造材とし、アルミは
フタと考える。アルミの断面
は2つとも同じとなるので、
1つの型ですむ。

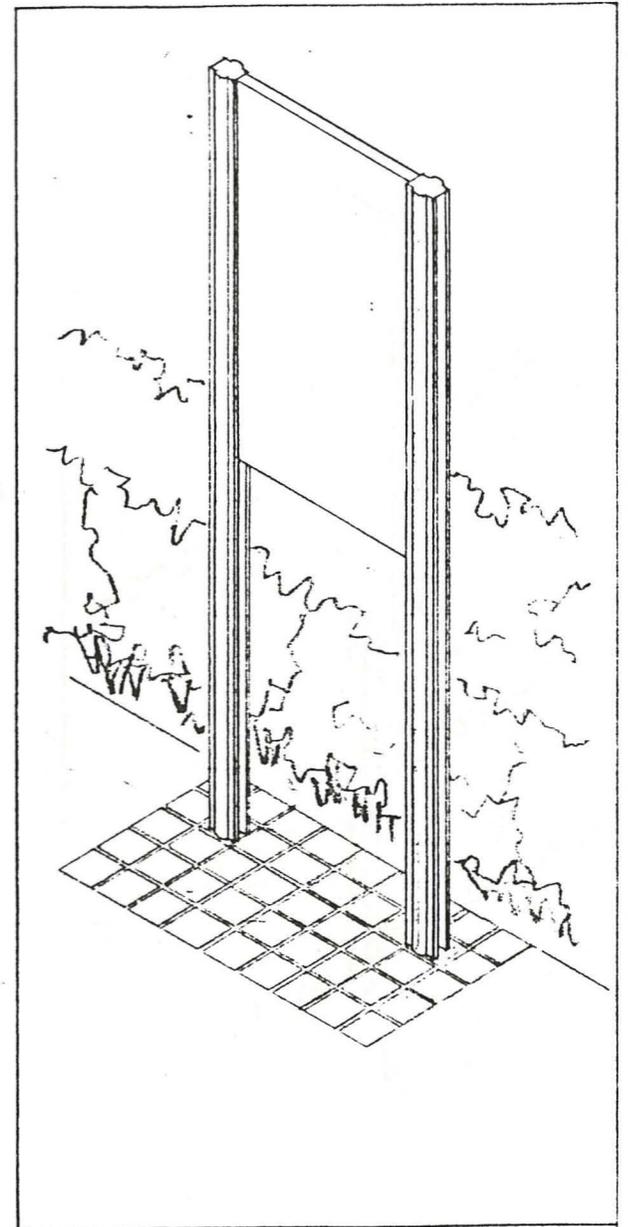


3-3-5 アルミ型材による
サイン(2)

2. バス停周辺
案内サイン(B案)



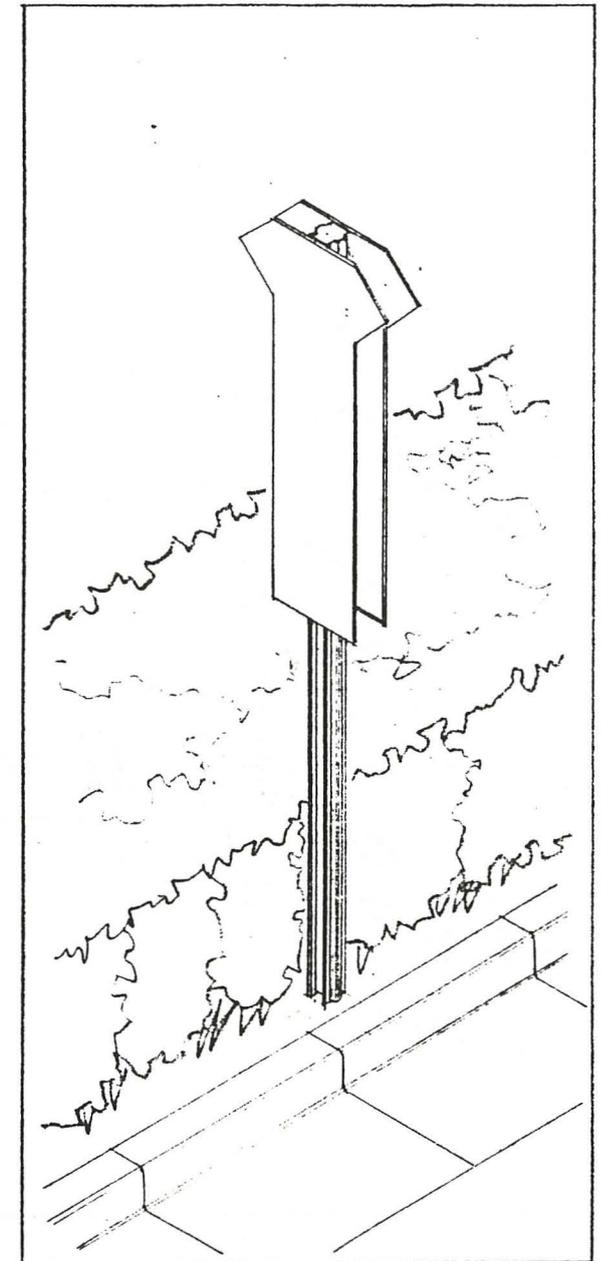
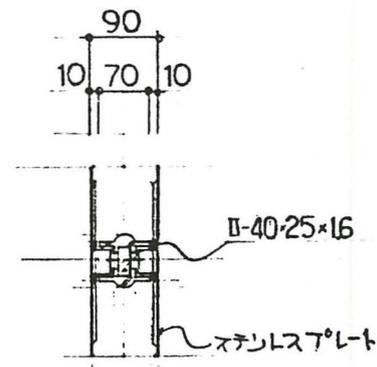
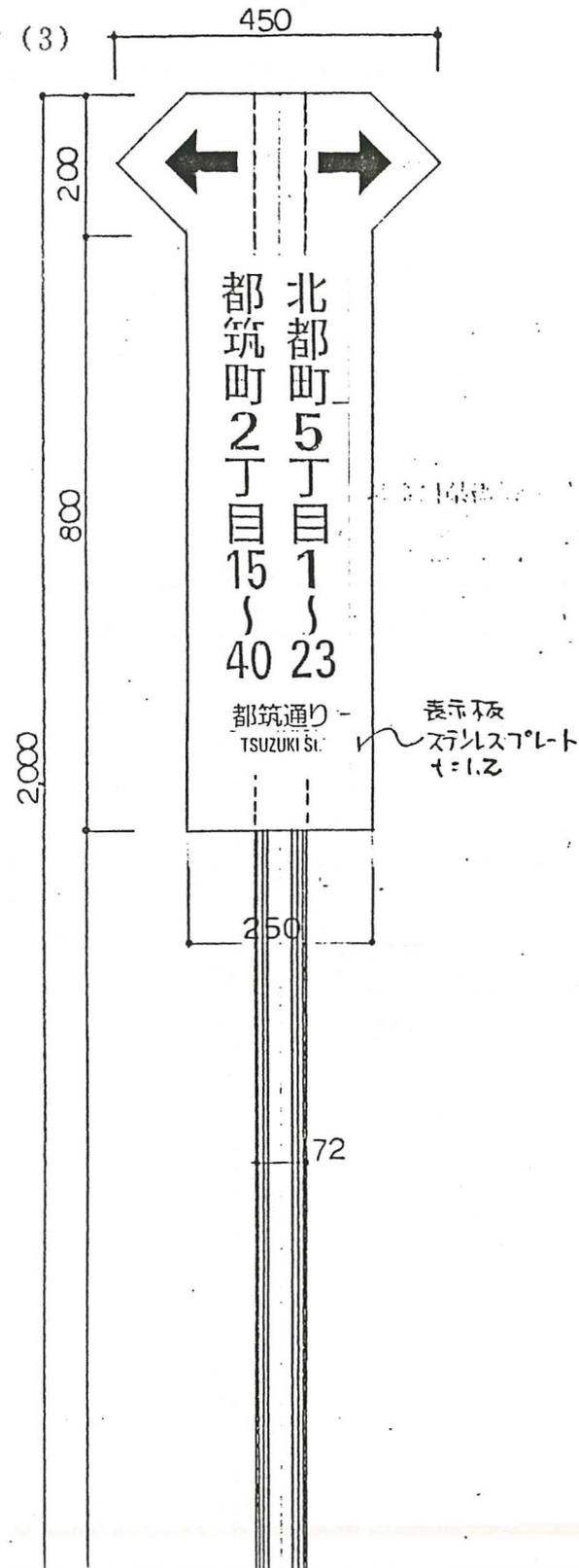
・アルミ型材を構造材とする。
構造を受ける部材とフタとなる部材の2つの型が必要となる。



3-3-5 アルミ型材によるサイン (3)

3. まちかどサイン (小-1)

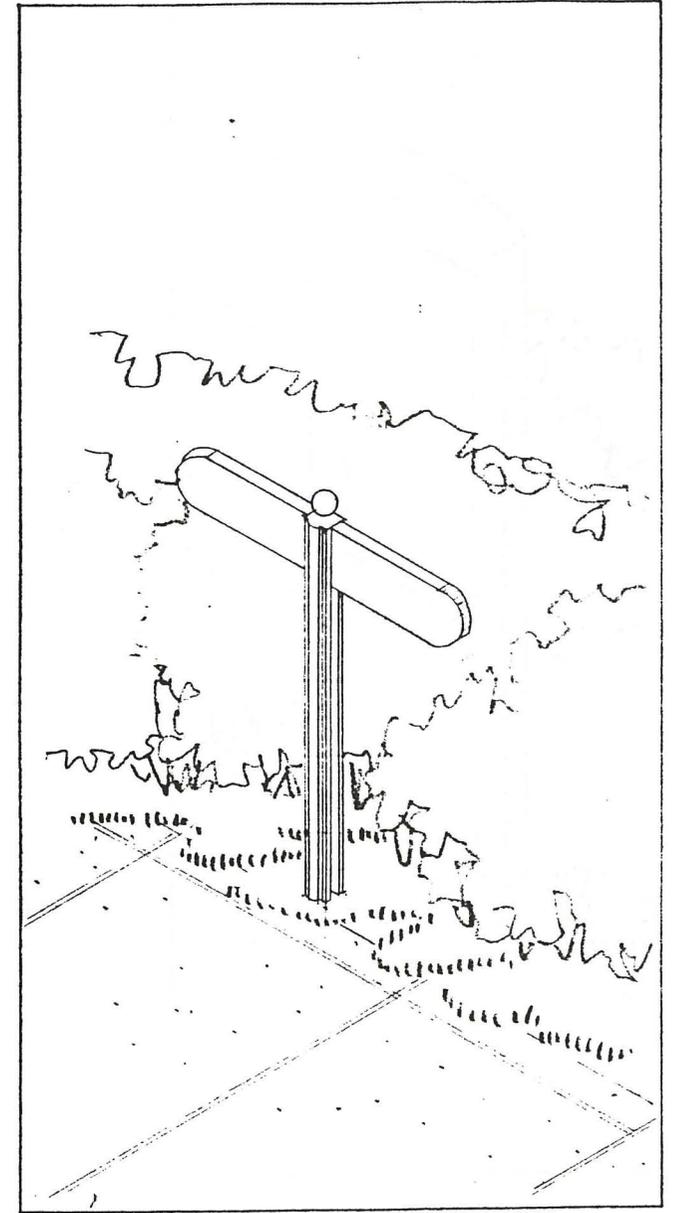
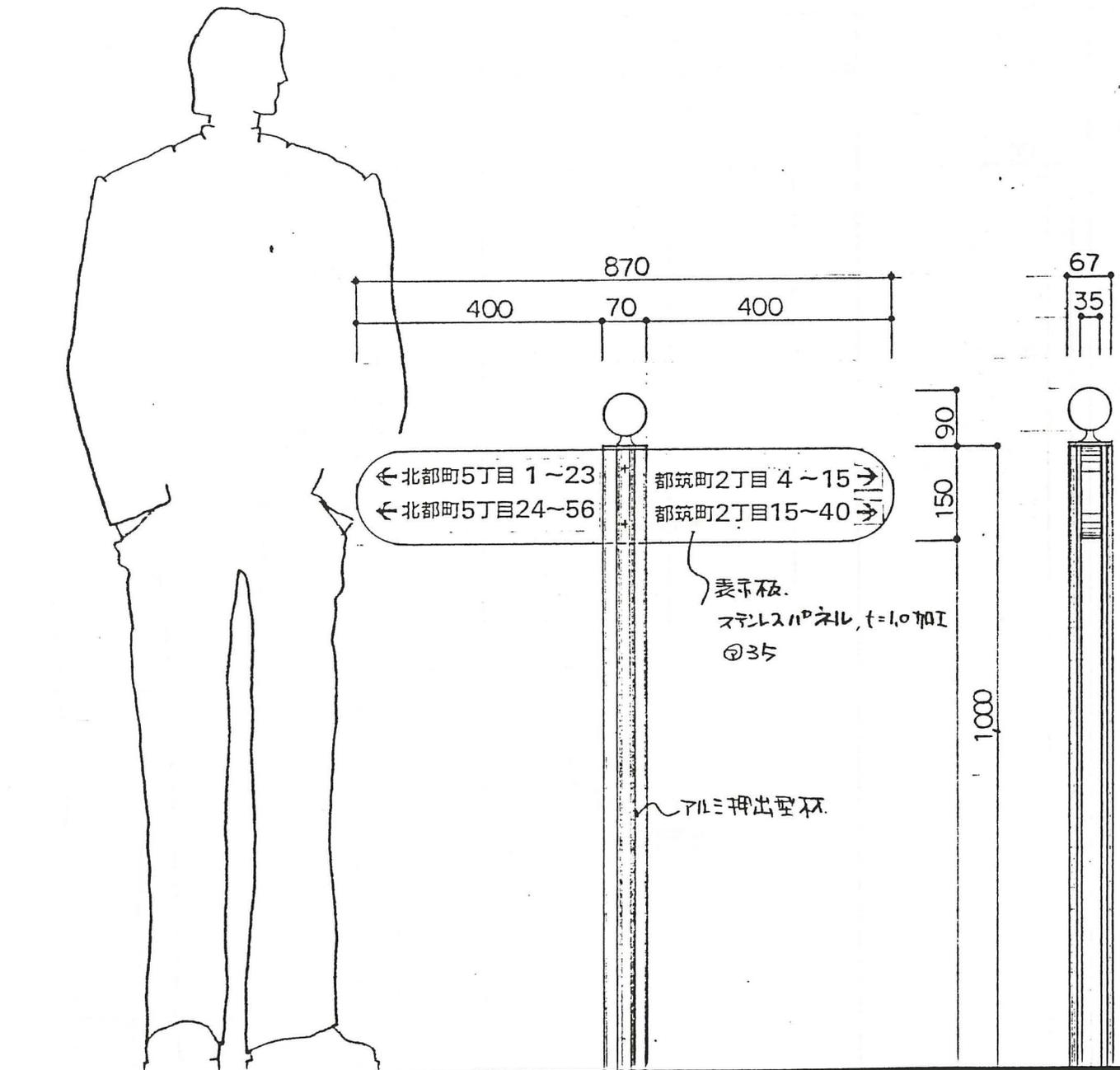
— コレクター道路誘導サイン —



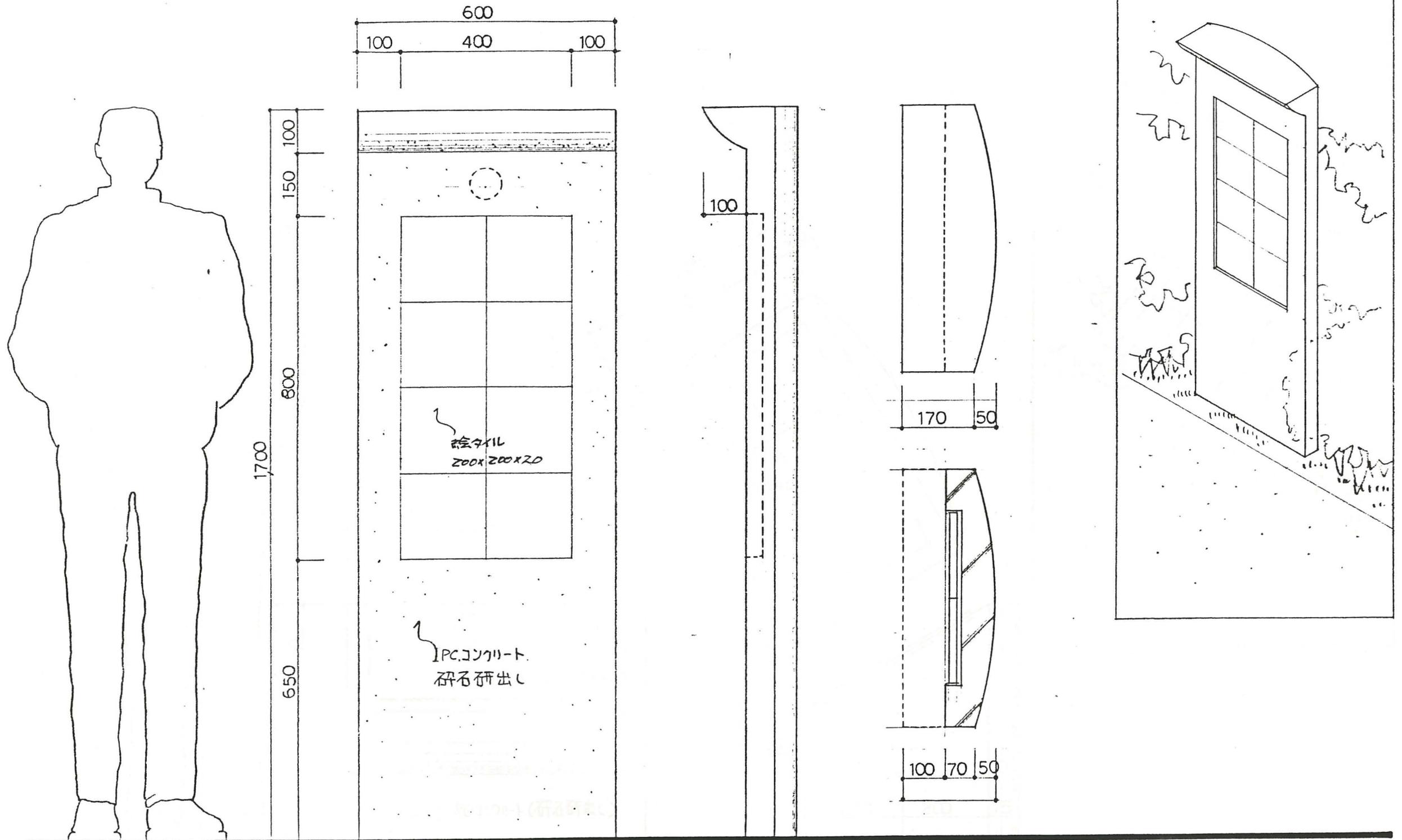
70mm 押出型材

3-3-5 アルミ型材によるサイン(4)

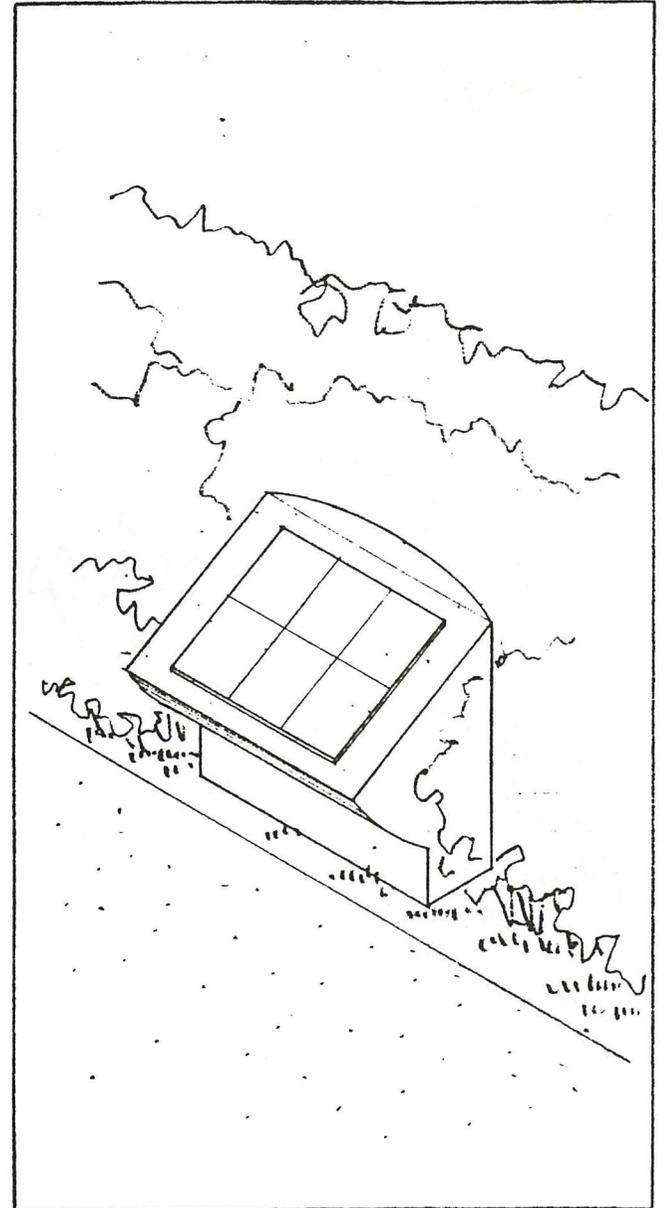
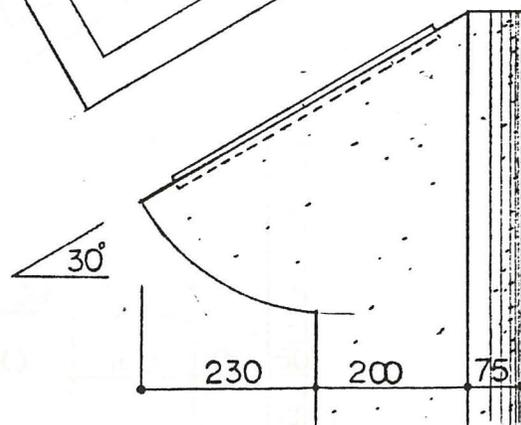
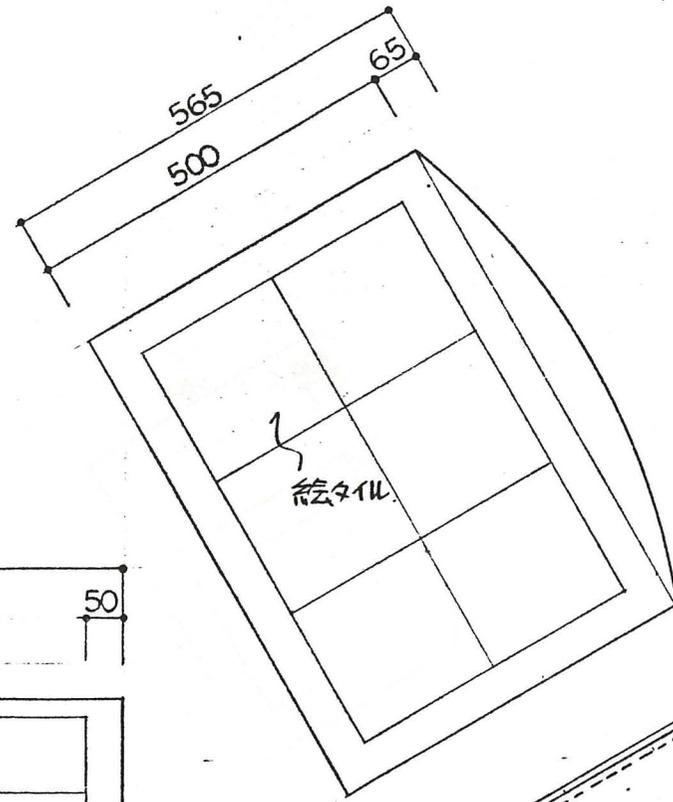
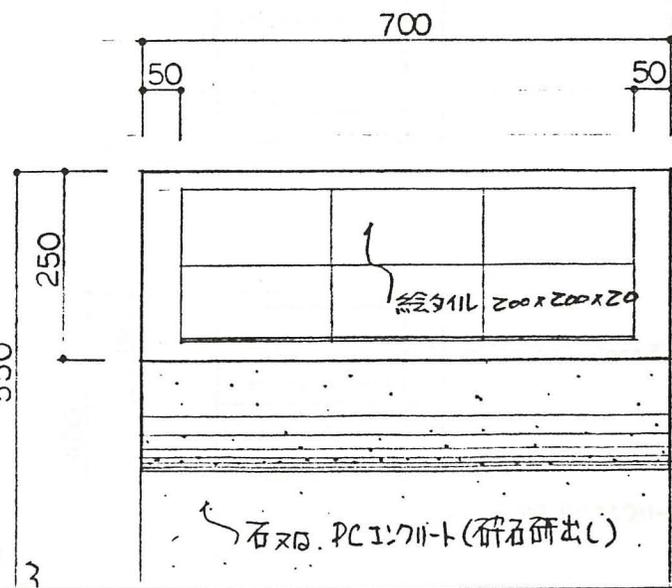
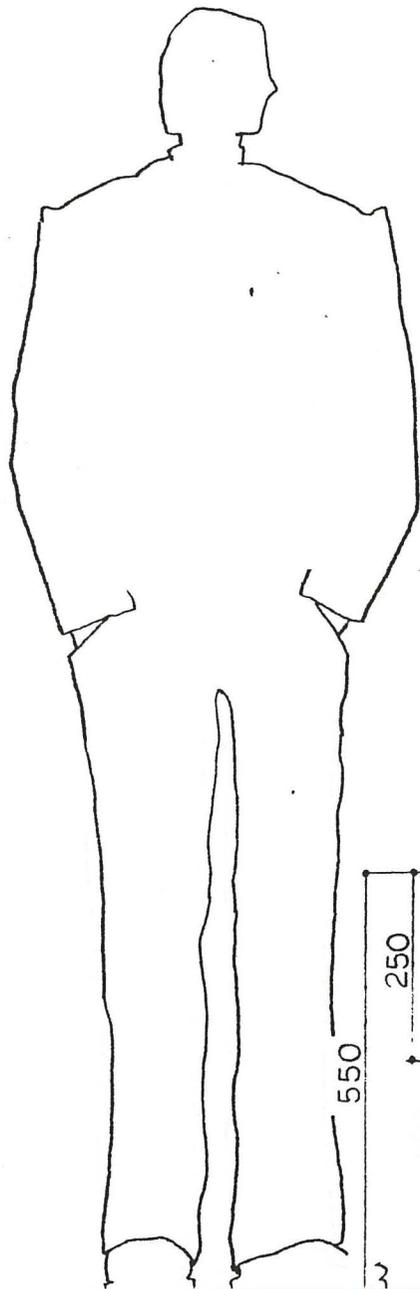
4. まちかどサイン(小-2) — 歩行者専用道路及び緑道内誘導サイン —



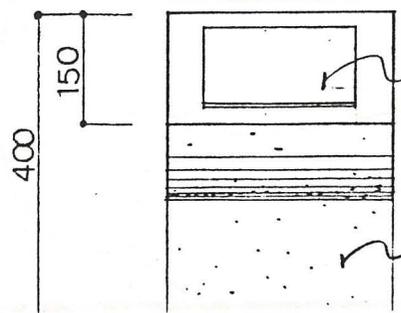
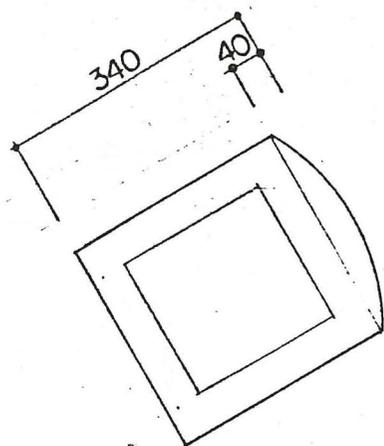
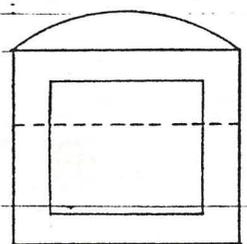
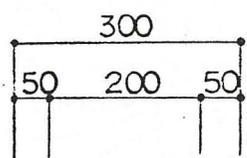
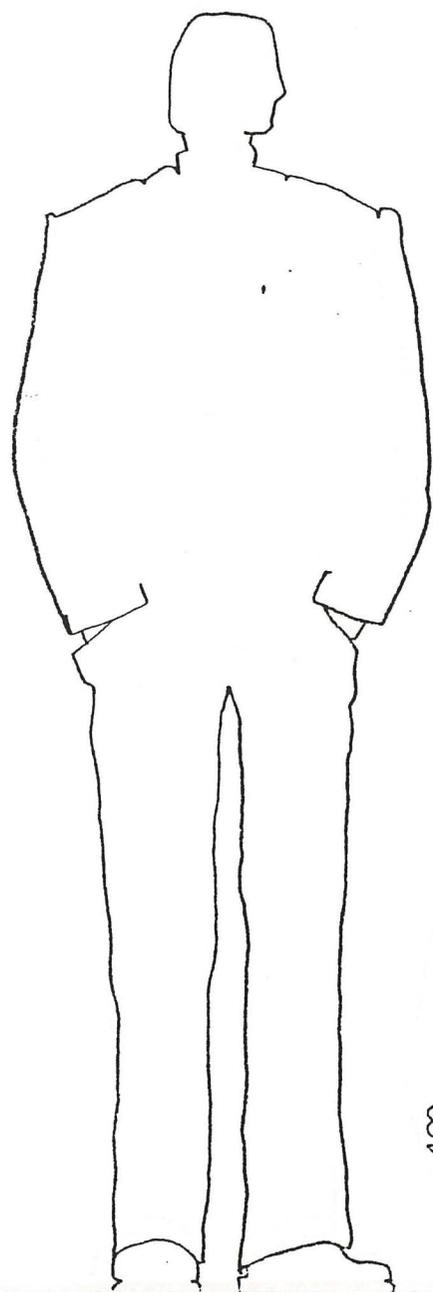
3-4-1 読切連載解説サイン (*公園の名称及び案内サインとしても用いることが出来る。)



3-4-2 史蹟解説サイン・緑道名称サイン

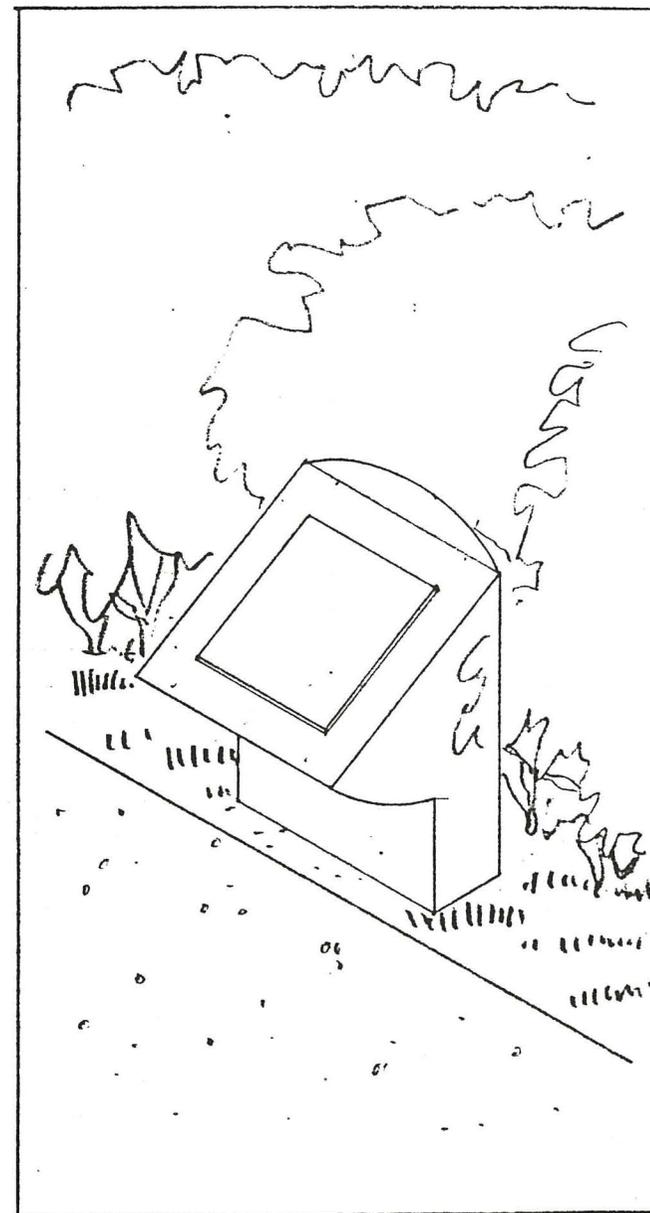
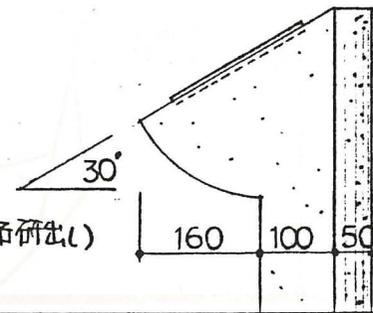


3-4-3 樹名、小動物名等解説サイン

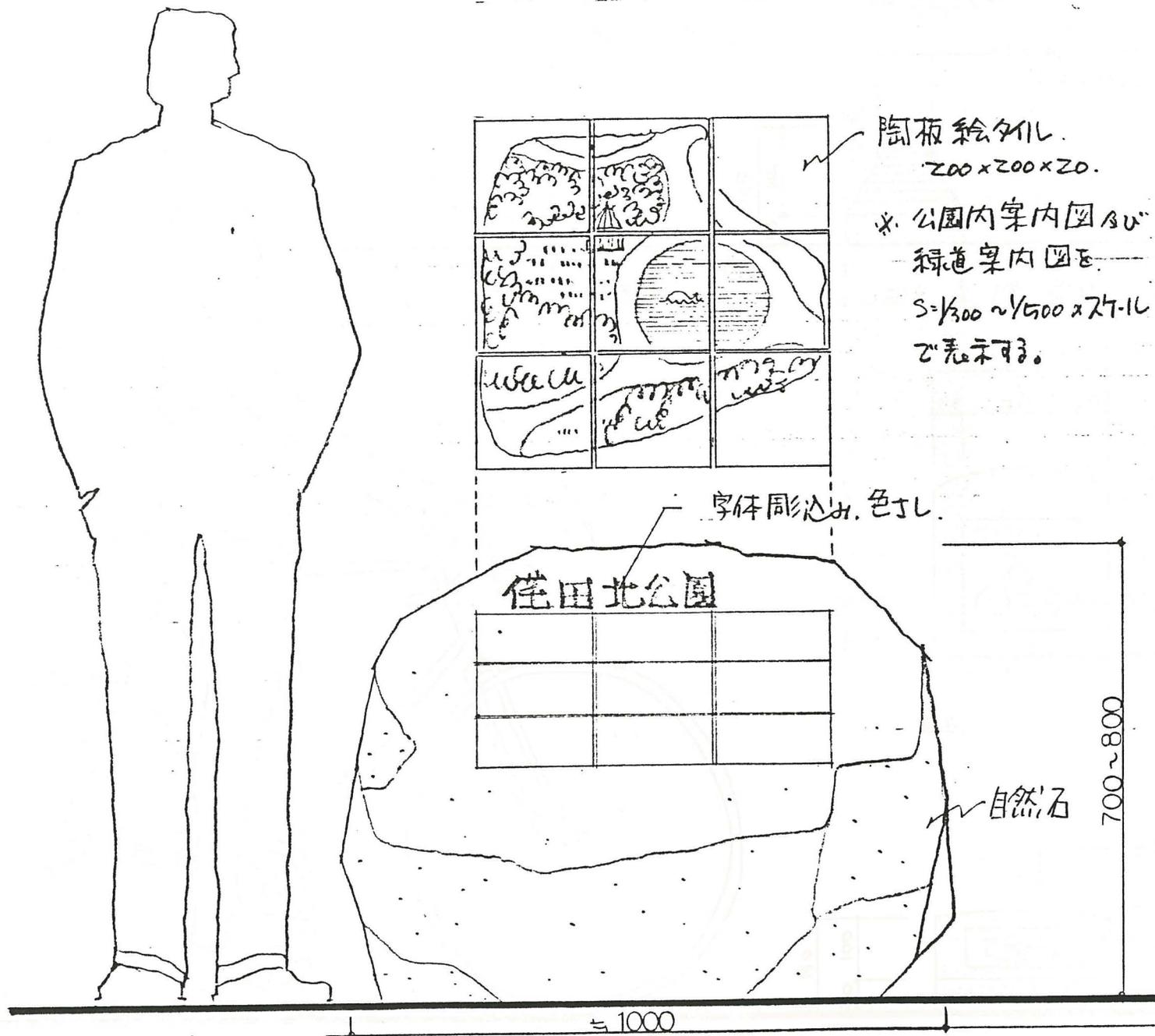


総タイル 200x200x20

石材PCコンクリート(砕石研出)

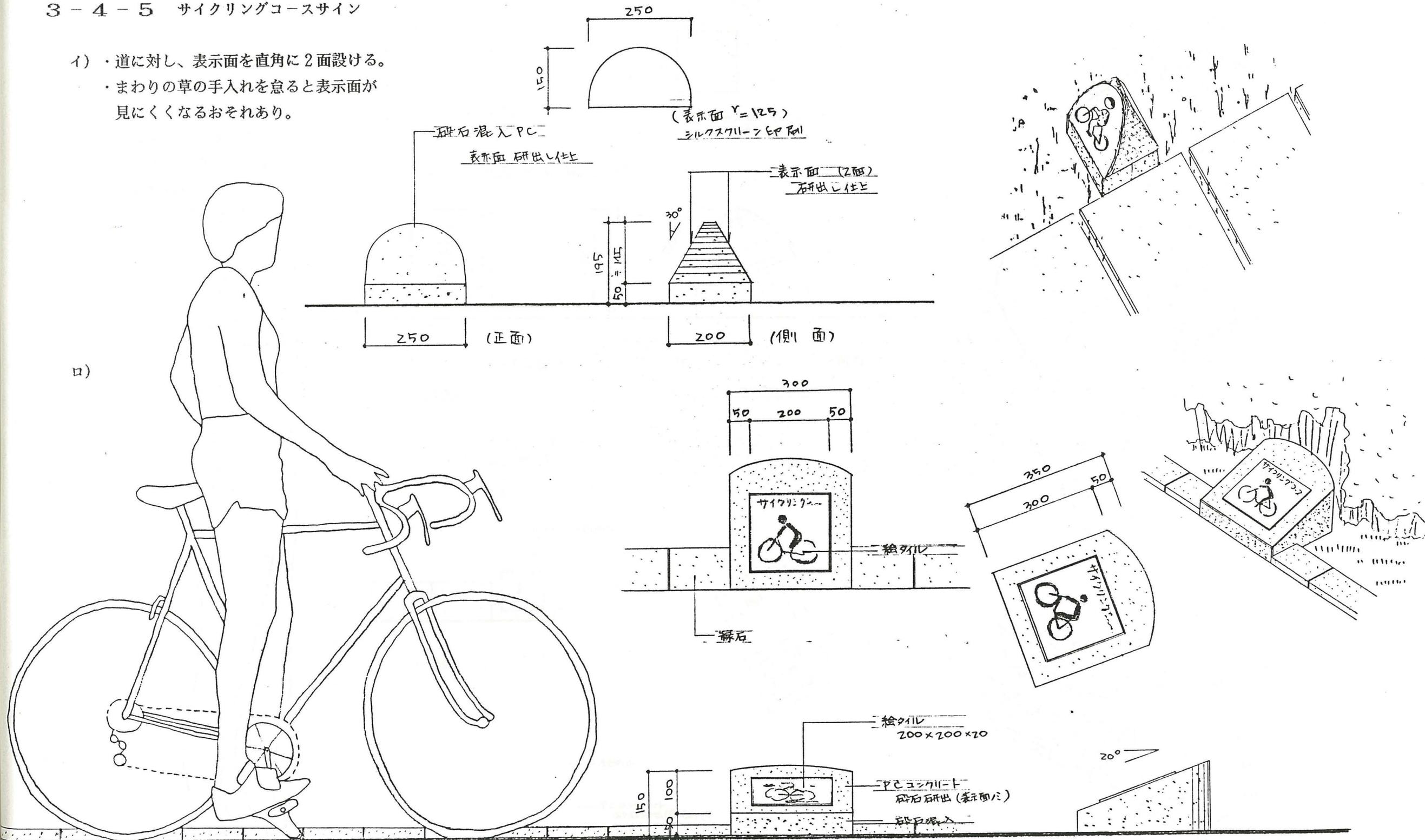


3-4-4 自然石による公園名称（公園案内）及び緑道名称（緑道案内）サイン



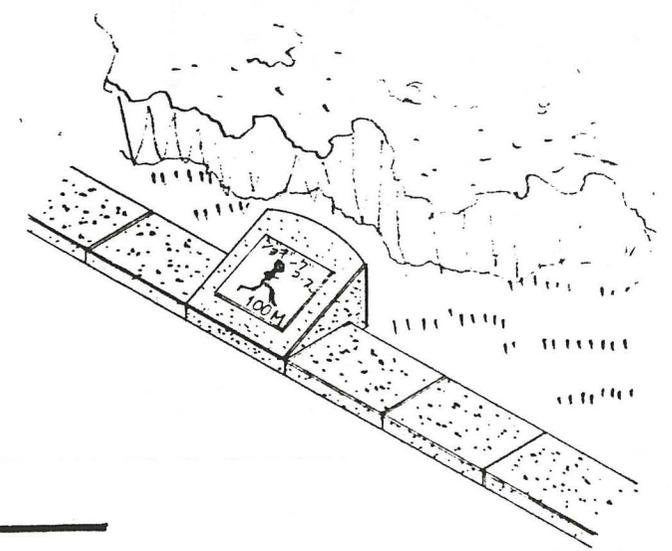
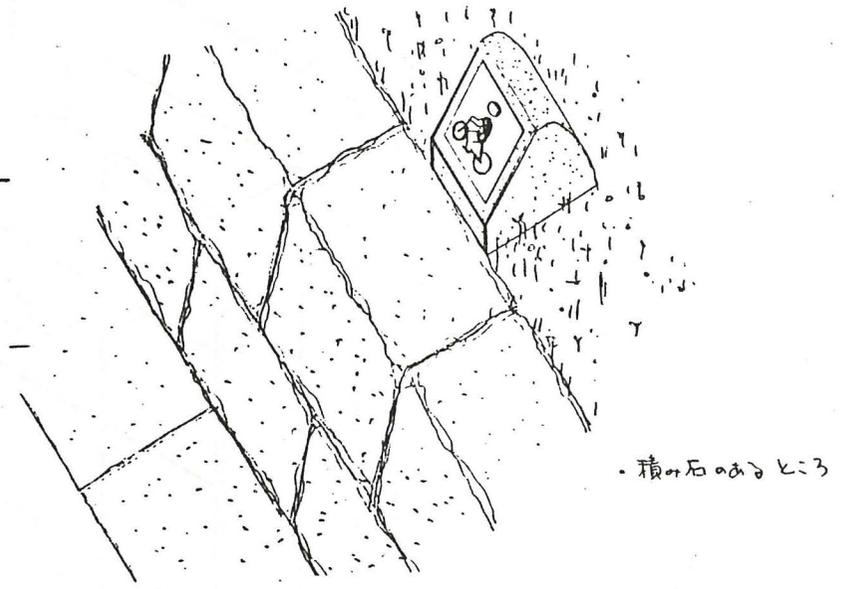
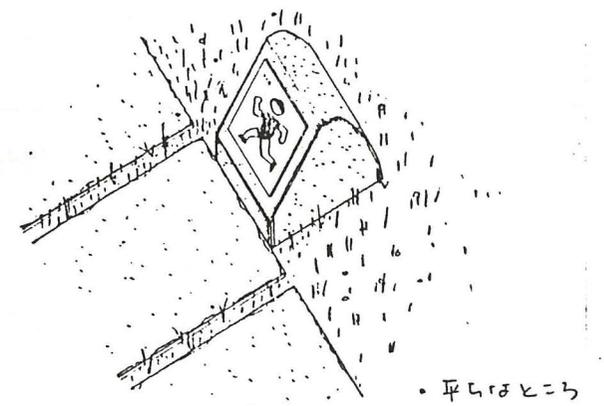
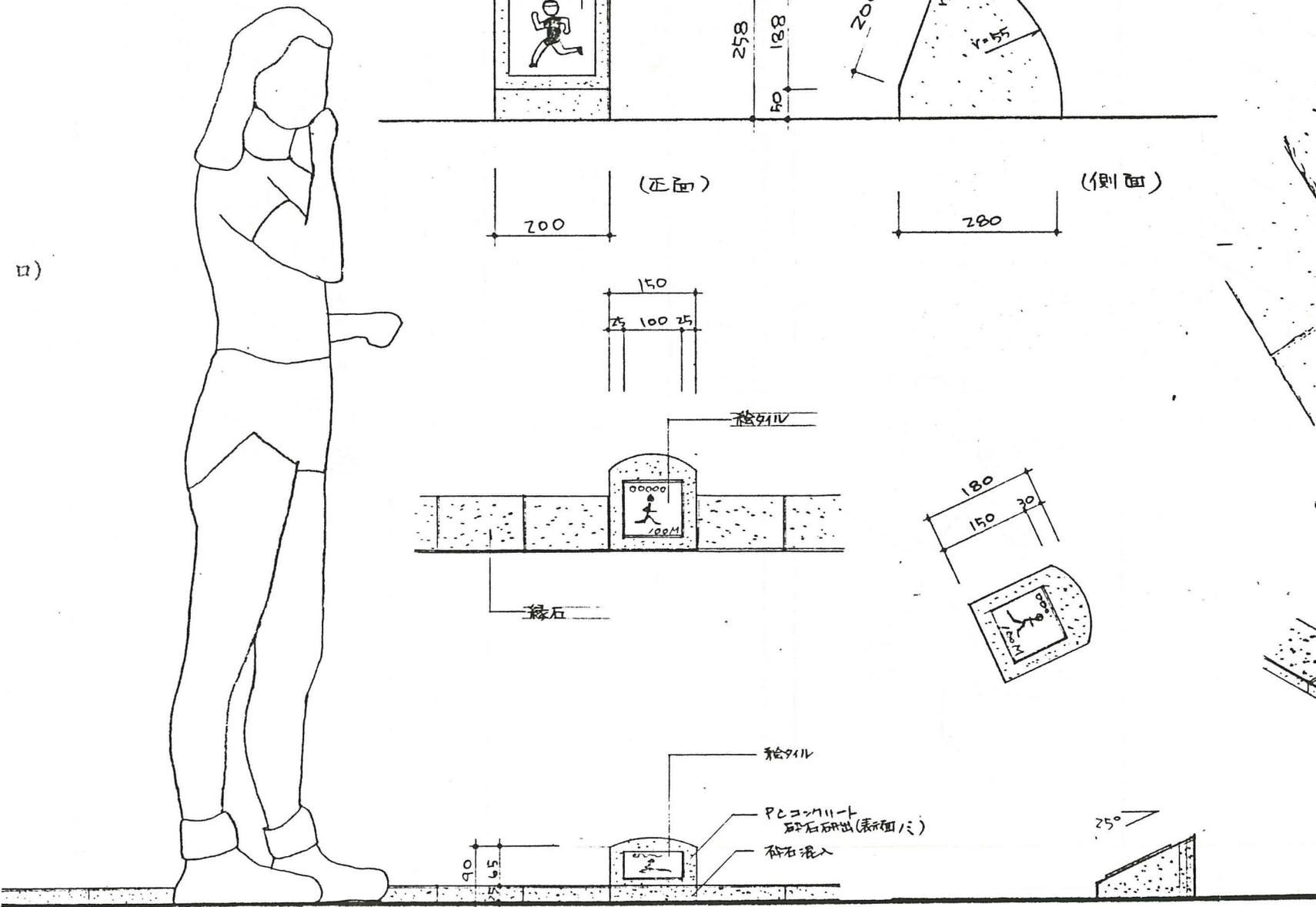
3-4-5 サイクリングコースサイン

- イ) ・道に対し、表示面を直角に2面設ける。
- ・まわりの草の手入れを怠ると表示面が見にくくなるおそれあり。



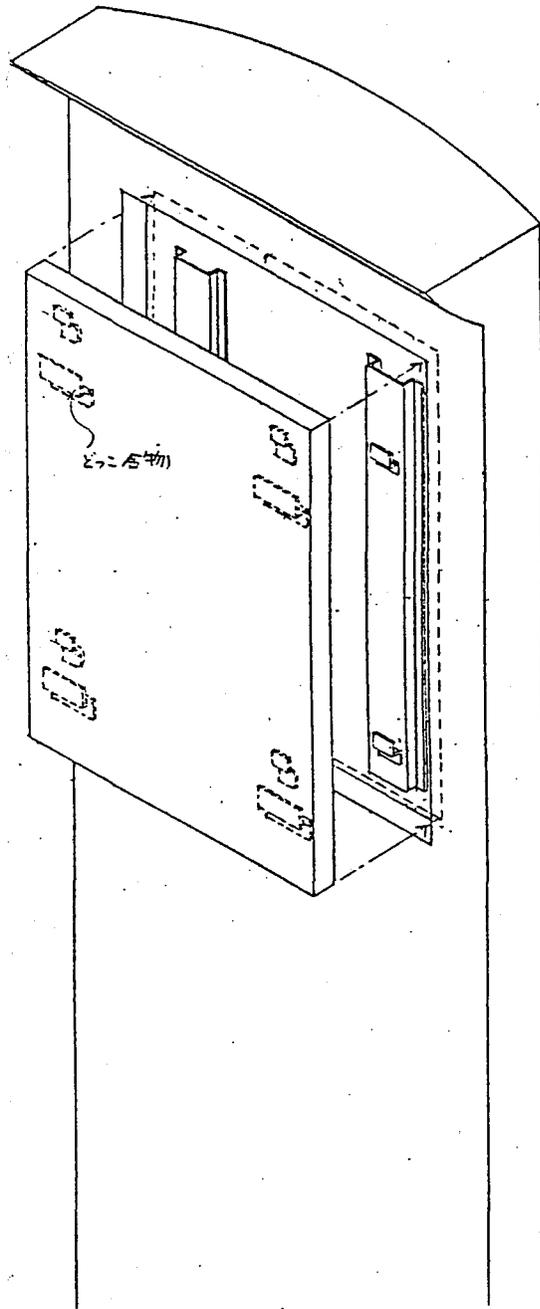
3-4-6 ジョギングコースサイン

- イ) 石のイメージの楕円を切り取り、路傍にごろっと転がした形。
- ジョギングとサイクリングの違いは、絵タイルのピクトグラムとその土地の色の違いによって出す。
- 道の縁に接して設ければ草がまわりを囲んでも表示面は隠れない。

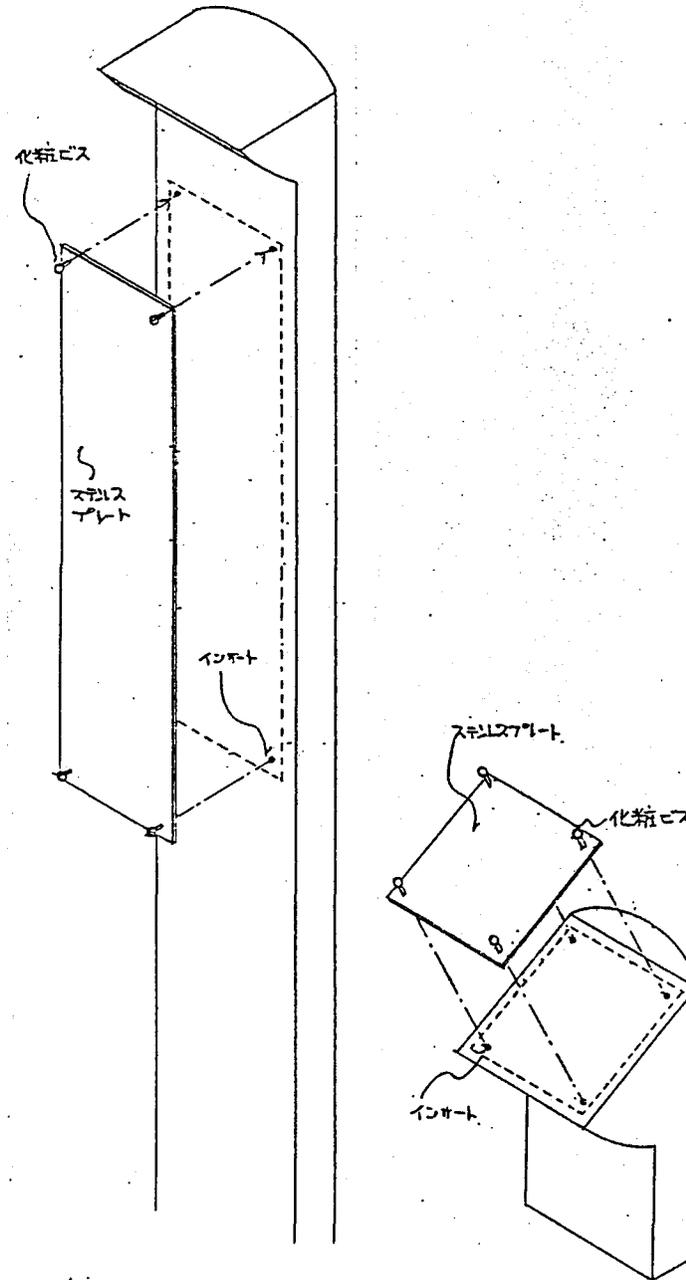


3-5 表示板の取付方

1) ステンレスパネルの取付詳細



2) ステンレスプレートの取付詳細



3) 陶板タイルの取付詳細

